



筑波大学  
*University of Tsukuba*



筑波大學台灣校友會  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION  
10672台北市大安區長興街81號  
筑波大學台灣校友會秘書處  
02-3366-9313



筑波大學台灣校友會會刊  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS



# Contents 目次

## 会長挨拶

- 2 校友会会報の第三号発刊にあたって

## 筑波大学から

- 4 筑波大学学長挨拶  
6 沿革  
8 募金要項

## 校友会活動報告

- 10 筑波大学台湾校友会第3回総会報告  
11 台湾人若手カフェ

## 校友紹介

- 12 可成教育基金会 林珍玫CEO  
20 万葉連綿 いのちの力  
鐘有輝、その芸術創作の歩み

## 筑波大学ゆかりの名士

- 28 「いだてん」の嘉納治五郎先生をご  
存じですか？

## つくば通信

- 30 つくばと私 齋藤安奈

## 留学生だより

- 36 筑波大学に留学して 陳祥  
37 G30プログラムについて 謝昊容

## 校友交流

- 38 筑波大学台湾校友会各地の親睦会

## 校友著作紹介

- 41 十五年に一冊 邱若山

## 台湾オフィス報告

- 42 筑波大学台湾オフィス便り  
44 バイクでGo! Part 2～台湾一周～

- 48 筑波大学校友会規約

## 筑波大学情報

- 50 筑波大学新プログラム  
総合理工学位プログラム（学士）

- 51 編集後記

## 會長的話

- 3 會長的話

## 筑波訊息

- 5 校長的話  
7 校史沿革  
9 捐款要項

## 筑波大學活動報告

- 10 筑波大學台灣校友會第三屆總會報告  
11 台灣年輕人座談會

## 校友寄語

- 13 可成教育基金會執行長 林珍玫  
21 萬葉綿延生命能量 記鐘有輝的藝術創作

## 緣牽筑波大學

- 29 您知道 [韋駄天]中的嘉納治五郎老師嗎？  
31 筑波與我 齋藤安奈

## 留學生寄語

- 36 筑波大學留學心聲 陳祥  
37 Global 30 Program 謝昊容

## 校友交流

- 38 筑波大學台灣校友會共聚一堂

## 校友著作介紹

- 41 十五年一本書 邱若山

## 台灣辦事處報告

- 42 筑波大學台灣辦事處  
45 機車遊台灣Part 2 環島Go!

- 49 筑波大學台灣校友會章程

## 留學資訊

- 50 筑波大學新學程  
Bachelor's Program in  
Interdisciplinary Engineering

- 51 編輯後記



## 校友会会報の第三号発刊にあたって

筑波大学台湾校友会会長の林華章です。昨年の第二号に続き、校友会として会報第三号を皆様にお届けすることができ、大変嬉しく思っております。

2016年2月20日に発足した筑波大学台湾校友会は、今年3月16日をもって第四回目の総会を迎えることになります。昨年の総会には、許水徳名誉会長、許義雄名誉副会長など約40名の校友の皆様、本学のベントン・F・キャロライン国際担当副学長をはじめとする筑波大学関係者の臨席をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

昨年も、本会報にありますよう、校友同士の懇親会、筑波大学との交流など様々な活動に取り組んで参りました。

また、昨年も記しましたが、本校友会では、以下の点を心がけて、校友の皆様との親睦を図って行きたいと考えています。

### （1）筑波大学及びその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に師範学校としてその歴史が始まり、その後、東京高等師範学校等を経て、東京文理科大学（1929年）、東京教育大学（1949年）を経て、1973年につくば市に本部キャンパスを移して筑波大学となりました。本校友会は、このような筑波大学の歴史を踏まえ、筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織に所属した校友の集う会を目指しています。

### （2）台湾人、日本人を問わず、台湾在住の方を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友にご参加いただいています。国籍を問わず校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

### （3）校友同士の親睦及び台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。本会報もその一助となればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

### （4）従前の校友活動に敬意を払うこと

本学の144年に亘る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。

本会をより良いものにしていくため、皆様のご意見をお待ちしております。

私または幹事会へご連絡いただけますと幸甚です。



## 會長的話

我是筑波大學台灣校友會會長林華章。承續著去年創刊號的發行，今年我也非常高興能看到這本校友會第三期的會刊，能順利出版，交到各位校友們的手上。

2016年2月20日創立的筑波大學台灣校友會，到今年的3月16日將要迎接第四次總會活動。去年有約40位校友熱情參與，筑波大學的國際副校長Benton Caroline Fern教授也親臨到場給我們指教，僅此致上由衷謝意。

過去一年，台灣校友會就像本會刊所載，除了校友們之間的聯誼聚餐等，也和筑波大學之間舉辦了許多各式各樣的交流活動。

去年的會刊上我也提到過，但再此重申本校友會的成立目的在於促進校友之間的交流，故以下幾點要在此特別跟大家說明：

### （1）本校友會の入會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象。

筑波大學始於1872年創校之師範學校，經歷了東京師範學校、高等師範學校、東京文理科大学（1929年）、東京教育大學（1949年）的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌跡為本，以集合筑波大學及前身之所有大學之校友為目的而設立。

### （2）不分國籍，以居住在台灣的校友為對象。

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同



林華章

國籍的校友為目的而設立。

### （3）以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的。

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，本次發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

### （4）向歷來的校友會活動致敬

在母校146年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了與所有校友們分享校友會在此一年間的交流活動，我們每年將其編輯成冊，在此歡迎各位校友不吝惠賜稿件，在會刊的取材與內容方面，也歡迎隨時提供我們寶貴的意見。

另外，也將台灣校友會的章程附載於本會刊中，還請各位會員務必過目。

各位會員的賜教都將促進本會的成長，有任何意見都請直接與我或幹事會聯絡，再次謝謝各位。





筑波大学は、1872年に明治政府によって我が国で最初の高等教育機関として創立された師範学校を創基として、東京教育大学に至る歴史を経て、1973年に「新構想大学」として誕生し、2023年に創基151年、開学50周年を迎えます。

本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。本学の前身である東京高等師範学校の校長であった嘉納治五郎氏は近代柔道の父として名を知られていますが、それ以上に重要なことは理想に溢れた優れた教育者であり、日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者であったということです。また本学は総合大学としては他に例を見ない幅広い学問分野を有しており、専門分野を深化させながら、新たな学際融合・横断的な教育研究を積極的に開拓してきました。

現在、私たちを取り巻く環境は、激変するグローバル社会の中で、混乱の度合いを増しています。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

これらを解決するために、本学には教育、研究、およびそれらを基盤とした社会貢献が求められています。研究学園都市で新構想大学として出発した本学は、先端的な研究教育拠点、知の国際連携活動拠点、そして我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本学は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

こうした思いの実現に向けて、「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様に記念基金の趣旨をご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

国立大学法人筑波大学長

永田恭介

ごあいさつ

筑波大学は1872年明治政府時期我が国最初的高等教育機関一師範学校を創基として、東京教育大学の段階、1973年に「新構想大学」を創設した。2023年創設151年、本校は創設50周年を迎える。

本校は「開放性大学」を基礎建校理念として、率先して既成の「可塑性調整的教育研究組織」を、また次世代に求められる「革新的大学体制」を、この理念「不断の改革」を今も。かつて本校の前身である東京高等師範学校校長の嘉納治五郎校長、彼は近代柔道の父として有名で、理想の優秀な教育者、また日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者。本校は他校にない、幅広い学問分野の学術領域の総合大学、積極的に専門分野に深く研究し、開拓・創新的な学際融合・横断的な教育研究。

現在、私たちは変化する国際社会の中で、混乱の度合いが増している。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

本校は教育と研究を根本的に解決するために、社会に貢献したい。本校は研究学園都市で新構想の大学として出発した。本校は最先端の研究教育機関、国際連携活動拠点、我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本校は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

本校は「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様に記念基金の趣旨をご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。





## 1872

- 5月29日、東京に師範学校設立。

## 1886

- 東京師範学校は高等師範学校と改称。



## 1893

- 嘉納治五郎、校長に就任。



## 1920

- 東京箱根間往復駅伝競走大会優勝  
金栗四三が設立した、東京箱根間往復駅伝徒歩競争大会(現在の箱根駅伝)第1回で東京高等師範学校が初優勝を飾った。

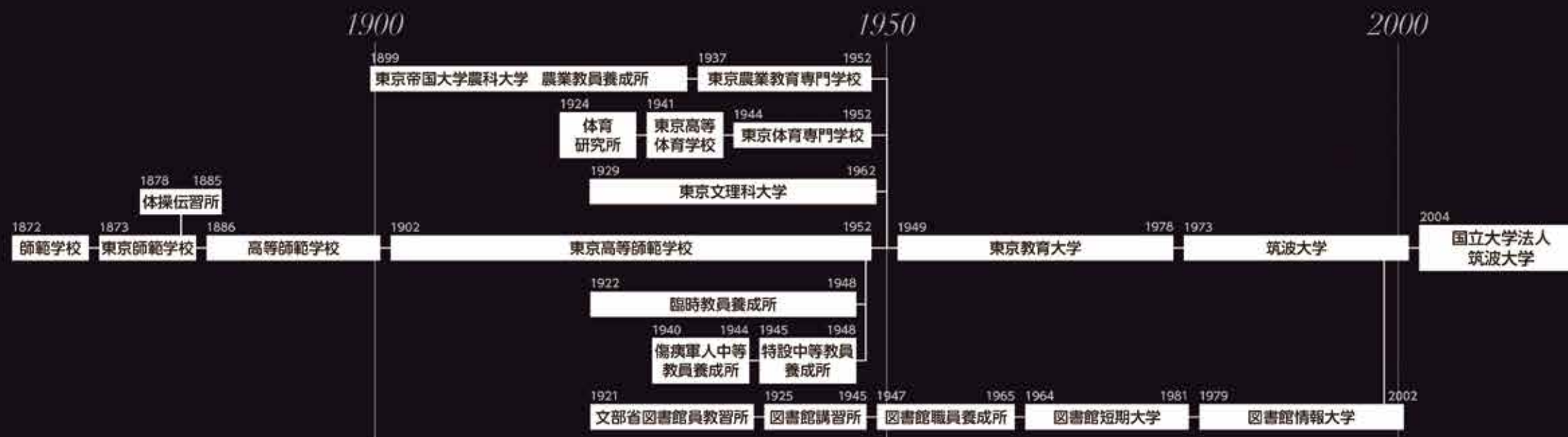


## 1929

- 東京文理科大学設置。



筑波大学の起源は1872年、日本初の教員養成機関として発足した「師範学校」にさかのぼります。それから101年、東京教育大学の移転を契機に、よき伝統と特色を生かしながらも、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973(昭和48)年に「開かれた大学」を建学の理念に総合大学として発足しました。開学から40有余年、筑波大学は初心を忘れず、しかもつねに時代を先駆ける大学を目指して不断の改革を続けています。



## 1949

- 国立大学設置法(昭和24年法律第150号)により東京教育大学設置。



## 1956

- 朝永振一郎、学長に就任。  
東京教育大学第2代学長。1965年、ノーベル物理学賞受賞。くりこみ理論の発明により、量子電気力学の発展に寄与。1969年、東京教育大学名誉教授に就任。



## 1973

- 国立学校設置法等の一部を改正する法律(昭和48年法律第103号)により筑波大学を設置。



## 1992

- 江崎玲於奈、学長に就任。  
筑波大学第5代学長。1973年、ノーベル物理学賞受賞。現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学分野の発展に寄与。1998年、筑波大学名誉教授に就任。



## 2004

- 国立大学法人法(平成15年法律第112号)により国立大学法人筑波大学を設置。



1. 名称 ——— 「創基151年筑波大学50周年記念基金」

2. 目標金額 ——— 10億円

3. 募集期間 ——— 2024年3月31日まで

4. 支援内容 ——— ●研究支援・人材育成支援[世界トップレベルの研究支援]  
幅広い学問分野において、真理を深く探求する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。  
また、最先端研究とともに基礎研究を着実に実施する。



●国際交流とグローバル人材の育成支援  
日本人学生の海外留学支援、優秀な留学生に対する経済支援、学術研究水準の向上とグローバル人材の育成を支援する。

5. ご寄附の方法 — (1)お振り込みによるご寄附[銀行・郵便局]  
所定の振込用紙に必要事項をご記入の上、お近くの金融機関の窓口にお出しください。  
(2)オンライン決済によるご寄附  
[クレジットカード決済、インターネットバンキング決済(ペイジー)、コンビニ決済]  
「筑波大学基金ウェブサイト」よりお申し込みください。  
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6. 顕彰・特典 ——— ●寄附者銘板 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、大学会館エントランスホールにご置きます「筑波大学基金寄附者銘板」にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。(ご希望の方のみ)  
●感謝状の贈呈 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、感謝状を贈呈させていただきます。  
●記念品贈呈 ● 募集期間中、各年度内個人で3万円以上、法人で10万円以上のご寄附を賜りました方につきましては、御礼として、本学関連商品等を贈呈させていただきます。



寄附者銘板

1、名稱 「創基151年筑波大學50週年紀念基金」

2、目標金額 10億日幣

3、募集期間 2024年3月31日為止

4、支援内容 ●研究補助與人才培育「世界頂尖研究支援」  
在廣泛的學術分野中，開展世界頂尖最先進的研究，一方面探求深入真理，另一方面也能將研究成果回饋社會，在最先進的研究與基礎的研究兩方面都能夠確實的推進。



●「國際交流與跨國人材的培育支援」  
支援日本學生到國外留學、優秀的留學生到日本的經濟支援、提升學術研究水準與國際人材培育之支援。

5、捐款方式 (1) 匯款{銀行或郵局}  
在匯款用單上填入必要事項後，就近到金融機關匯款。  
(2) 線上付款  
{信用卡付款、線上電子付費Pay-easy、便利商店付款}  
到{筑波大學基金官網}上申請：  
<http://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6、表彰 ●捐款者芳名 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將在筑波大學大學會館的穿堂「筑波大學基金捐款者芳名錄」上刻上芳名以茲感謝。(有此意願者)  
●感謝狀 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將贈贈感謝狀。  
●紀念品 ● 募款期間，各年度個人捐款在3萬日幣以上或法人捐款10萬日幣以上，本校將贈與紀念品以茲感謝。



## 筑波大学台湾校友会 第3回總會報告

2018年3月3日に第3回筑波大学台湾校友会が台北福華大飯店で行われました。約40名の校友が出席して会長選挙が実施され、林華韋会長の再任が承認されました。筑波大学からはベントン・キャロライン副学長にご臨席いただきました。その他、活動報告、予算、会則、役員の承認に続き、吳萬福氏（東京教育大学体育学部卒）、莊坤遠氏（筑波大学農林工学博士）に在学中の思い出を写真とともに紹介いただきました。また、筑波大学留学説明会や親睦会を催



し、それぞれに歓談と交流に花を咲かせました。



## 筑波大學台灣校友會 第三屆總會報告

2018年3月3日第三屆筑波大學台灣校友會於福華大飯店舉行。約40名校友出席大會，並舉辦了會長選舉，選舉結果是林華韋會長在眾望所歸之下，連任會長。這次筑波大學由Caroline Fern Benton副校長親自來台，給我們指導與勉勵。總會當天也進行了年度活動報告、預算報告、大會守則、幹部介紹等會程，當天邀請到了東京教育大學體育學部畢業的吳萬福學長，與筑波大學農林工學博士的莊坤遠學長，與大家分享了在筑

波大學時點滴回憶，還有許多珍貴的照片。這次也在總會前，有筑波大學台灣辦事處主辦了筑波大學留學說明會，以及總會結束後的聯誼餐會，台日籍校友們都把握了這個難得的機會，共聚一堂敘舊言歡。



文字請見右頁

## 第二回台湾人若手カフェ～リサーチとキャリアパス～

2018年12月8日に台湾人留学生のためのイベント，第二回台湾人若手カフェ～リサーチとキャリアパス～を筑波大学にて開催しました。

午前中のリサーチカフェでは，文系・理系双方の学生や研究者に集まっていた，研究発表を行い，参加者で議論をしました。議論は，予定時間を過ぎて大いに盛り上がりました。不肖大庭も特別講演ということで，これまでの自分の研究者人生について中国語で講演させていただきました。

午後のキャリアパスカフェでは，筑波

大学卒業生からは，張文全氏、劉宇帆氏、魏子傑氏、高橋郁文氏、楊佩珊氏など第一線で活躍する企業の方々より講演をいただきました。質疑応答も多く，活発な意見交換が行われました。その後，留学生，登壇者の懇談を目的とした意見交換会の場を設け，交流を図りました。今回のイベントを通して50名近い参加者がありました。今後も筑波大学台湾オフィスでは，日本においても，台湾人留学生の活動をサポートし，留学生同士，また卒業生や校友会とのネットワークを広げる活動をしていきます。



## 第二屆台灣年輕人座談會： 喝咖啡聊研究與求職就業分享會

2018年12月16日，我們在筑波大學，主辦了一個為台灣留學生而辦的活動：台灣年輕人座談會：喝咖啡聊研究與求職就業分享會。

在上午的「喝咖啡聊研究」活動中，我們同時邀請了文科及理科的學生和年輕學者齊聚一堂，上台發表各自專精的研究主題，並且和在座的學生們踴躍互動，場面熱烈，還超出預期的時間許多。而特別演講的部分則是由敝人在下我初次嘗試以中文演講，講述我前半段人生的研究之路。下午是「求職就業分享會」的時間，很榮幸我們邀請到張文全、劉宇帆、魏

子傑、高橋郁文、楊佩珊等在第一線的企業活躍的優秀校友，特別來到筑波大學，與各位在學的學弟妹分享工作上的人生經驗。極為精采的演講，也激發了在座學生積極的討論與問答。最後的活動是讓學生與演講者有更深入的互動而設置的意見交換時間。這次的活動非常榮幸，有將近50位的留學生參加。此後筑波大學台灣辦事處，也將盡心致力於支持台灣留學生的活動，並期待未來能擴展留學生、畢業生與校友會之間的合作，讓彼此聯繫更加緊密。





## 可成教育基金会 林珍玫CEO

林珍玫氏は芸術文化を愛し、大学は美術学科で学んだ後、1985年に筑波大学芸術研究科の大学院に進学、現在は台湾可成科技株式会社の傘下にある可成教育基金会のCEOを務めている。

「筑波大学での留学期間は、日本語を学んだ留学生センターで多くの国の留

学生と友達になり、世界各国の文化に触れ、大変興味深い経験でした。大学の様々なイベントを通して日本の茶道や陶芸等々、各種の芸術文化を深く理解することができました。青春時代の多彩で豊富な思い出を作ってくれた筑波大学にはずっと感謝しています。大学院では視覚

伝達デザイン学科で杉田豊教授のもと、児童絵本の研究をしました。40年前はカラーインクの技法による絵画制作はあまり普及しておらず、新しい材料を学ぶ他に元来の枠を越えて新しいものを創るという観念が必要です。デザイン、色彩、空間をシンプルにして、可愛らしく暖かく気持ちの籠った絵本を作り出すのです。」

林珍玫氏は台湾に戻ってからはグラフィックデザイン会社勤務、絵本の出版に加え



## 可成教育基金會執行長—林珍玫專訪

林珍玫女士熱愛藝術文化，大學就讀美術系，並於西元1985年赴日求學，為筑波大學藝術研究科的研究生，現為台灣可成科技（股）公司旗下的可成教育基金會的執行長。

她說：「在筑波大學求學期間，在留學センター上日文進修課程，結識了許多不同國家的朋友而接觸世界各國的文化，非常有趣。經由學校的活動更深入了解日本的茶道、陶藝以及各種藝術文化……等等。我經常經常地感謝筑波大學，讓我留下青春時代、最精彩豐富的回憶！在專業

的領域上，我是視覺傳達デザイン学科，指導教授是杉田豊，是兒童絵本の領域研究，在40年前，以彩色墨水為技法的作畫方式，並不普遍，除了學習新的材料之外，必須要拋開原來的框架，以創新的觀念，將造型、色彩、空間單純化、而創作出童趣，溫馨，感性之兒童繪本。」

林珍玫女士回台灣之後，曾經在平面設計公司工作，也出版過繪本，也曾在大學教書。她說：「不論在任何職位上，在筑波大學的學習，深深遠遠地影響著我，總是為創造新的價值而努力不懈！」



左の「キャビネットの変調四重奏」は、素材のアルミ合金を18の工程を経てハイテクノロジーの無限の可能性と虚実の変化を表現した。右の「親愛姉妹兄弟」は、4人の子どもの題材にした油絵の作品。

左邊是以鋁合金材質，進行18道製程，創作出「機殼蛻變四重奏」作品，呈現高科技無限延展、虛實變化的意象。右邊是以四名孩子為主題，創作出「親愛姊妹兄弟」的油畫作品。



て大学で教鞭を執る等の経歴がある。  
「どんな仕事にも筑波大学で学んだ経験は大きく影響しています。新しい価値を創造するために弛まぬ努力を続けています。」

可成科技株式会社は台南に起したアルミ合金ダイキャスト鑄造の会社で、1988年にマグネシウム合金ダイキャスト技術の研究に着手、その後は台湾のノート型パソコンブランドメーカーとの提携でアルミ合金ダイキャスト開発を手がけるようになった。その後は欧米のメーカーから

も認証を得、近年はアルミ合金押し出し成型、鍛造、CNC（Computer Numerical Control）二次加工、陽極処理がスマートフォンになり、ハイエンドノートブックパソコンのキャビネット製造のトップメーカーとなった。

企業の拡大と利益の成長に伴い、可成科技は2000年に可成教育基金会を成立した。地元への恩返しをすべく洪水樹氏は基金会の会長に夫人の林珍玫氏はCEOに就任した。可成教育基金会の取り組む範囲は教育、文化、環境保全等多くの領域



台湾の留学生たちと野球観戦。私の左（向かって右）は台湾校友会の林華章会長で、当時の台湾留学生会会長。林会長の左（向かって右）は陶長君さん。

台湾留学生們一起觀看棒球比賽。我的左手邊是台灣校友會林華章會長，當年他也是我們台灣留學生會的會長，林會長左手邊的是陶長君先生。



昭和61年（1986年）、留学生対象のイベントで台湾、タイ、シンガポール、韓国からの留学生が初めて和服を着て茶道に触れ、忍者村での体験も。大学の留学生に対する配慮に感動した。

昭和61年為留學生舉辦的活動，來自台灣、泰國、新加坡、韓國的留學生們第一次穿上和服，接觸茶道，並且到忍者村體驗，當年感受到學校對外國留學生的照顧和用心，非常感動！



可成科技（股）公司發跡於台南，以鋁合金壓鑄件起家，於1988年開始研究鎂合金壓鑄技術，之後與台灣筆記型電腦品牌大廠合作開發鎂合金壓鑄件，並陸續贏得歐美筆電大廠認證。近年來成功透過鋁合金擠型、鍛造、CNC二次加工、陽極處理成為智慧型手機，是高階筆電一體成型機

殼領導廠商。

隨著企業規模擴大、獲利成長，可成科技於2000年成立可成教育基金會，表達對家鄉的關懷，洪水樹夫婦相偕投入地方公益。洪水樹是基金會的董事長、夫人林珍玫擔任執行長，掌管基金會事務。可成教育基金會投入的公益領域相當多元，關



にわたり、近年は台南で数回大型の国際レベルの音楽活動も開催されたが、可成教育基金会はその仕掛け人の一端を担っている。

可成教育基金會のサポート範囲は非常に広く、経済支援の必要な家庭の子どもの補習や奨学金、学生が台北の科学展覧会に参加する費用、台南市立中山中学校の舞踊クラスが台北のコンテストに参加する費用、成功大学の奨学金等に及ぶ。更に国立台南芸術大学へ200万台湾ドルを

補助して学生たちが海外の芸術家を招いて学生たちと生活や創作する機会を持てるようにし、既に多くの日本とアメリカからの陶芸家が台南に来て芸術創作を学ぶ学生たちと交流を深めている。2017年の年末に開催したコンサートでは600万台湾ドル近い募金が集まり、病院や各種学校、支援が必要な団体に寄付をした。

可成教育基金会の主旨は音楽、芸術、教育の推進であるが、社会に役立つことであれば全力で支援を行っている。日本



左から2人目は曹融先生。文化大学時代のクラスメイトで筑波でも同期の大学院生として切磋琢磨した。

一番左は鐘有輝先生、一番右は林進忠先生。ご指導とお世話をしてくださった先輩方。

左二曹融老師，我們是文化大學的同班同學，在筑波是同期的研究生，互相切磋。

左一鐘有輝老師和右一林進忠老師，是指導和照顧我們的學長！



懷層面涵蓋教育、文化、環保等，近年台南屢次舉辦的大型國際級音樂活動，幕後推手之一正是可成教育基金會。

可成教育基金會贊助的範圍非常廣泛，除了提供弱勢課輔和弱勢獎學金，小至學生參加台北科展的費用、協助台南市立中山國中的舞蹈班到台北參加比賽等等，也提供成功大學獎學金、在國立台南藝術大學投入200萬元台幣的補助款，讓學生邀請海外藝術家到學校跟學生們進行生活創作，已經有多位日本與美國的陶藝家陸續來到台南，與學習藝術創作的學生們深度交流。2017年年底舉辦一場「珍愛・似水年華演唱會」，演唱會十分精采，募到的款項將近600萬元台幣，得以捐贈給醫院、各級學校、弱勢團體。

可成教育基金會的宗旨雖然是推展音

樂、藝術和教育，只要涉及公益，也會全力支持。日本311大地震之後，關心日本災區的台灣民眾，希望可成教育基金會能幫忙把愛心送到災區，所以在收到捐款後，在善款還無法馬上運用的情況下，基金會先提撥了一筆項款，在日本當地購買二台消防車，以提供災區即時的救援使用。

另外，除了推動她專精且熱愛的藝術文化活動，也憑藉著對保留「老房子」的熱情，這幾年陸續拯救許多面臨被拆掉的房子，透過整修，以富含文化和藝術的韻味讓老房子重生，展現台南的古意氛圍。

目前已經擁有的老房子，全部都在大台南市，除了藝廊「B.B ART」和咖啡館「鹿角枝」，還有幾間陸續進行中的案子，重要是在台南地區產生漣漪效應，台



の311大震災発生の際には、日本の被災地に思いを寄せる台湾の人々から、可成基金会を通して被災地に気持ちを届けたいという声が寄せられた。寄付金で二台の消防車を購入し、被災地での救援にすぐに役立ててもらった。

また、芸術文化活動を広げるほかにも「老建築」の保存にも熱を注いでおり、ここ数年老朽化による撤去に直面していた古い建物を救っている。修復作業を経て、文化と芸術の香りが漂う古民家を再生し、台南のレトロな雰囲気醸し出している。

現在台南市にあるギャラリー「B.B ART」やカフェ「鹿角枝」を所有しているが、進行中のプロジェクトも幾つかある。大切なことは、そのさざ波効果によ

り台南地区の至る所で若いアーティストが手がける創意溢れた老建築が見られ、台南市政府もこの地方文化の発展を重視していることである。老建築を蘇らせた成功例は、古都の魅力を更に引き立てている。

林珍玫氏はこう語る。「私自身絵画を学んできて、芸術を学ぶ人たちが十分な表現機会がなく抑圧されている気持ちがわかります。だから、特に台湾の新鋭画家をサポートしていきたいと考えているのです。」古い窓枠、窓の装飾、細やかな彫り模様等の老建築の美を保存し、アートを根付かせ古い空間に新しい生命を吹き込むことが、老建築を購入する目的なのである。老建築にはそれぞれの味わいがあり、ギャラリーやカフェとして蘇らせ、その生命を保つということである。

林珍玫氏は、「台南の人は実質的なものにこだわりを持っています。」と言う。その「実を重んじる」シンプルな姿勢と芸術人のロマンを融合させて、可成

教育基金会を設立し、社会への還元と故郷への貢献を行っている。

このような素晴らしい筑波大学の校友を、会報を通して皆さんにご紹介したい。



カフェ「鹿角枝」

咖啡館「鹿角枝」



南現在處處有年輕人創意十足的美麗老屋，台南市府也非常重視這地方文化的發展。老屋新生的成功案例，讓古都更溫潤迷人。

林珍玫女士說：「我自己是學畫的，能體會學藝術的人沒有足夠的舞台而感到的壓抑。所以，我特別希望能盡力幫助台灣的新銳畫家。」所以她保留老舊的窗框、窗花、細緻的鑿痕…把老建築的美保存下來，鼓勵文創與藝文進駐，為老空間創造新生命，

這是她收購老房子的目的。這每棟老房子，每棟都有不同的味道，做為藝廊與藝文咖啡館，讓老屋延續生命力。

最後，林珍玫女士說：「台南人講求的就是實在。」她正以台南人「實在」的樸實態度，融合她藝術人的浪漫情懷，創立了可成教育基金會，回饋社會，貢獻鄉里。我們非常榮幸能有這樣優秀的校友，特以此會刊的發行，向各位校友們介紹她，分享她的故事。





## 万葉連綿 いのちの力 鐘有輝、その芸術創作の歩み

文 ● 林雪卿

生命の本質の探究について、哲学者アンリ・ベルクソン（1859-1941）は、人間の生命とは意識の連続であり、その本質はある保有・存在の感得ではなく、一種の流れに身を浸して前に進んでいく感覚であって、こうした感得は、時間と空間を通過しなければ現れてはこないと考えた。鐘有輝は、その生涯を現代版画の創作と研究に捧げ、この半世紀の台湾における現代版画芸術の発展を推し進めてきた旗手である。その創作の特色は、版画の豊か

な肌理の変化と多元的な長所を保持しつつ、更に絵画の自由で躍動的な画面構成と色や形のダイナミズムを融合させた点にある。彼の含蓄を湛えて禅味を帯びた質朴な東洋的特質は、台湾の芸術分野に湧き出た一筋の清流であって、華人芸術界のみならず、国際的にも認められ、またことごとく衆目を集めるところもなっている。

鐘有輝は、1975年に国立台湾師範大学の美術学科を卒業し、その美術の基礎養



鐘有輝・林雪卿夫婦、筑波大学ベントン副学長と鐘有輝創作展会場で

Benton 副校長親臨創作展会場與鐘老師夫婦合影

## 萬葉綿延生命能量 記鐘有輝藝術創作歷程

文 ● 林雪卿

對於生命本質的探討，哲學家柏格森（Bergson, 1859～1941）認為人的生命是意識的綿延，生命的本質不是一種存有、存在的感受，而是一種參與一道長流而前進的感受，這種感受必須要通過時間和空間才能呈顯出來。鐘有輝畢生投入現代版畫的創作與研究，是台灣半世紀以來推動現代版畫藝術發展重要的旗手。其創作特色，既保存了版畫豐富的肌理變化與多元層次的優點，又融入了繪畫自由、靈動的畫面構成與形色動感。含蓄的、禪意的、樸實的東方特質，在台灣藝術領域中湧現一股清流，不只獲得華人藝壇的肯定，在國際藝壇上，亦備受矚目。

鐘有輝一九七五年畢業於國立台灣師範大學美術系，其美術基礎養成階段，不分科別專攻。一九八四年赴筑波大學藝術研究所繪畫科專攻版畫，展開藝術生命的另一新里程。在日留學期間能掌握學習時機，體驗國外藝壇進展，得有機會接觸先進科技藝術與現代版畫，擴展視野與觀念。一九八七年以顯微攝影研究「松香粉腐蝕凹版技法」獲得筑波大學藝術研究所藝術學碩士。

一九九二年專任於國立台灣藝術專科學校，一九九五年成立「版畫中心」為全國唯一版畫教學與推廣的機構。因與日本版畫界的友好關係，邀請許多日本知名版畫家來台，擔任文建會與教育部委辦的版



1983 永生  
1983 永生 54.5 × 39.5 cm



1986 Window8605  
1986 Window8605 40 × 60 cm



成の段階は個別の専攻に分れたものではなかった。1984年、日本の国立筑波大学大学院絵画科で版画を専攻し、芸術生命の新たな一里程を開くこととなった。日本留学中には、学びのチャンスをうまく捉え、国外芸術界の進展を体験したり、先進科学技術による芸術と版画に接触する機会を得たりして、視野や意識の拡充に努めた。1987年、顕微鏡撮影による「松脂粉腐食凹版技法」の研究で、筑波大学大学院芸術研究科より芸術学修士の学位を授与された。

1992年、国立台湾芸術専科学校の専任となり、1995年に、全国で唯一の版画教育および普及機構である「版画センター」を設立した。日本版画界との友好な関係を背景に、日本の著名な版画家を多く台湾へ招いたり、また文化建設委員会と教育部の委託により版画教育人材養成研修クラスの講師を担当し、様々な異なる版画技法を取り入れて、国内の各教育機関における版画教師の育成に努めるなど、現代版画教育の継承と普及にも大きく貢献した。2006年、制度改正後の国立

台湾芸術大学に、全国初の独立した版画芸術大学院を設立、学術研究の殿堂および国際交流の場となした。2012年に定年を迎えたが、彼の耕した現代版画芸術の園には、今も壮麗な華が咲きたくましい果実が実っている。

鐘有輝は学校で専任の職にある間、行政・教学および研究と並行して、創作の上でも新たな突破口を切り開いた。「版画センター」は、キャンパス内でも最も草木の多い場所に位置していたため、木の葉や草々が時の経過とともに生滅してゆく微細な変化を、薬効をも含めたそれぞれの効用を、強靱な生命力を、絶えず止むことのない奥秘と人のいのちの消長との間にある符合を、鐘有輝は観察していった。そして間もなく自然と人生の探究に入り、自然をその極限にまで引き出した。自然界の草や葉に材を取り、まだ朽ち果てる前の植物の形態を画面の上に移すと、新たな構図のもとにそれを再生させ、色とりどりの鮮やかな色彩を施して意味を与え、生命の多彩な姿を明らかにした。



1991 昇華  
1991 昇華 105 × 75 cm

畫師資人才培訓研習班講師，引進各種不同的版畫技法，培養國內各級學校版畫種子教師，對現代版畫教育的傳承與推廣貢獻良多。二〇〇六年於改制後的國立台灣藝

術大學，創立全國第一所獨立版畫藝術研究所，成為學術研究殿堂與國際交流的平台。二〇一二年由學校榮退，他所耕耘的現代版畫藝術園地也開出了壯碩的花果。

鐘有輝於學校專任期間，行政、教學及研究並進，在創作上起了嶄新的突破。因「版畫中心」座落在校園最多樹木與草坪間，樹葉、小草日日年年，生生滅滅，鐘有輝觀察它們雖極為微小，卻各有功能甚或藥效，且生命力強靱，其生生不息的奧秘與人的生命消長有相契合之處。鐘有輝便以自然與人生作探討，將自然抽離到極限，只取材自然中的草與葉，將尚未腐朽掉的植物形態，轉移到畫面上，重新構圖讓其重生，並施以繽紛豔麗色彩，賦予





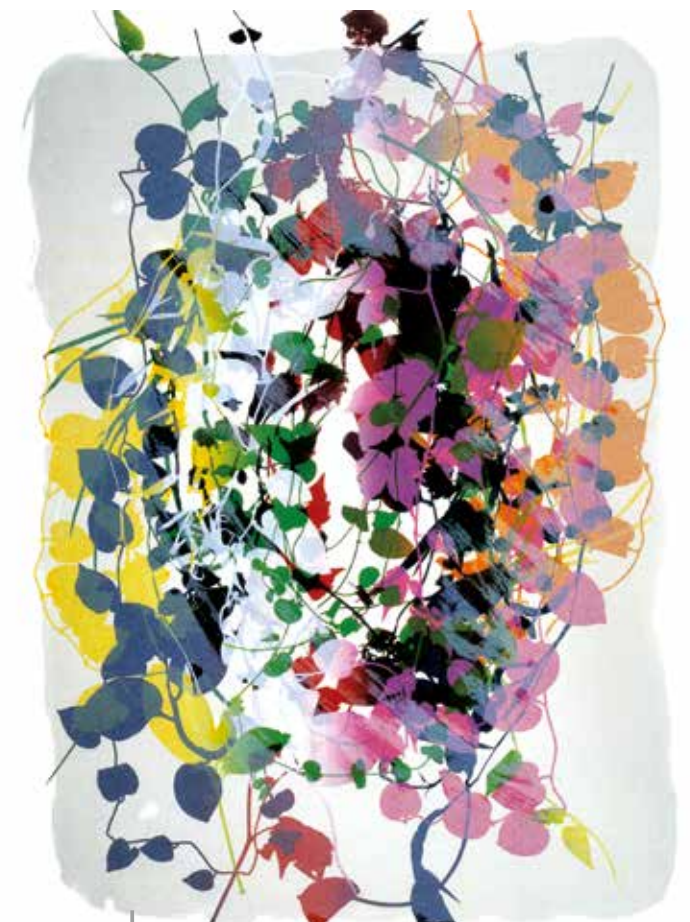
鐘有輝の創作は、自然や身の周りの環境に題材を取ることを好み、その画面の中に人物の模様や抽象的な幾何学模様と草の葉の造形を溶け込ませて、人文と自然の二種の記号が、互いに引き合い、バランスを保ちつつ組み合わせられた造形を行う。2018年、国父紀念館中山国家画廊に出展した個展『万葉集』は、長年に亙る人生・宇宙・禅心・生命と哲学等の課題によって、彼の異なった時期の一連の創作を体現している。日本の和歌『万葉集』の「葉」の字は、本来「一枚一枚の葉」、即ち文字通りの葉を意味することで、その書名の由来となっているが、内容は大自然の四季への讃歌、旅情の表出、男女の恋愛の物に寄せる思い、人生の儚さを哀しむ挽歌や自らの考えを物に託した隠喩で表現するなど、この世の様々な有様を嘆じている。「葉」の文

字は、「世」の字と発音が同じことからその意が取られているのである。鐘有輝は、版画・絵画等、多くの媒体の複合創作を通し、自己と周囲の生活環境との調和と交流を捉え、「一葉一世界」を通じて、彼個人の人生と永遠の生命の悟りを伝達する。その創作は、心から欲するところの人生の境地に従い、もはや頂点に達している。版画はもとより、版画の技法を援用した油彩画、複合媒体やオブジェの創作には、見る者に強烈な視覚的驚異と、連綿として絶えざるいのちの力を感得させぬものはない。

これまでの作品としては、伝統を取り込んだ初期の『シリーズ東方人文』、日本留学期間中の風景や情趣を描写した『シリーズ心の窓』、台湾芸術大学に職を得て後、再造形と再構成の表現を用いた『シリーズ繽紛』・『生の讃歌』や

意義、来彰显生命的多采多姿。

綜觀鐘有輝創作，喜從自然與週遭環境中取材，畫面並融著人文圖像、抽象幾何與草葉造形所組構的人文與自然兩種符號，彼此相互拉扯、也相互平衡。二〇一八年於國父紀念館中山國家畫廊展出《萬葉集》個展，依其歷年探究人生、宇宙、禪心、生命與哲學等課題，展現他不同時期的系列創作。日本和歌《萬葉集》之「葉」字，本意指「一片一片的葉子」，即載有文字的葉子，為其書名之由來。內容包含對大自然四季的讚歌、旅途心情的抒發、男女戀愛的寄物情思、人生苦短哀愁的挽歌與表達自我想法的託物隱喻等詠嘆浮世百態。「葉」字發音因與「世」字相同而取其意。鐘有輝透過版畫、繪畫等多媒材的複合創作，掌握自己和生活週遭環境的和諧與交融，並透過「一葉一世界」傳達他個己對人生與永恆



2000 白の心

2000 白色心情 60 × 40 cm



1994 勁さ

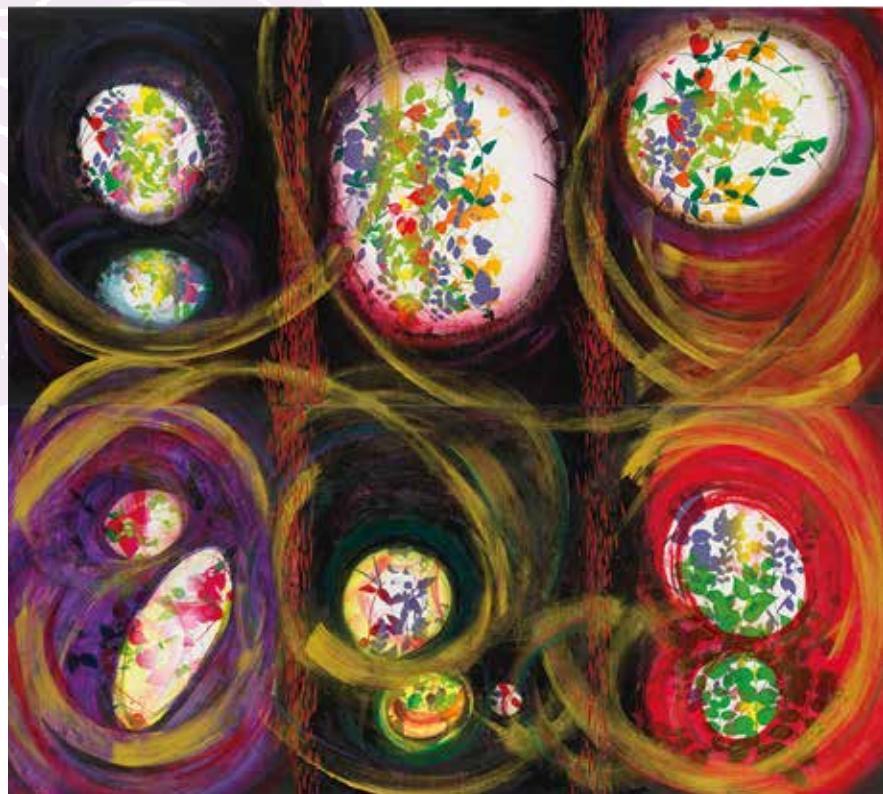
1994 勁 46 x 46 cm



2010 生命と靈魂

2010 生命與靈魂 116.5 × 274 cm





2010 運氣好転  
2010 氣旋轉好運 162.5 x 183



2012 立ち昇る  
2012 竄昇 162 x 130cm



2014 ちからの万華鏡  
2014 能量萬花筒 76 x 56.5cm

『シリーズ捲簾』、また2000年以降の、色彩と心象表現を重視した『シリーズ心情』と、その技法は更に円熟を迎え、自由で多様化したものとなった。そして近年の、自由闊達でエネルギーに満ち溢れた『シリーズ自然のちから』・『シリーズ万華鏡』において、彼の創作はもはやピークの状態に達したと言ってよい。

『万葉集』の展観で鐘有輝は、なおも連綿として絶えぬ旺盛な創作力を見せ、多年に亙り研究を進展させてきた各種の複合的な版画創作、また自動車のボディへのプリントやガラス・陶磁器とデジタルの運用等、芸術と生活を融合した作品を結集

させて、開幕当日には、作品を身に纏った著名モデルによるファッション・ショーまで行われた。時期と系列とが異なった創作は、まるで起伏に富んだ生命の楽章を一ページずつ捲るかのように、次々と真っ直ぐな力を奏で、観衆の面前に協調と融合の共演を繰り広げた。かくまで卓絶した表現は、鐘有輝が四十余年に亙って心血を注いで手入れしてきた台湾現代版画の花壇の成果を代表するばかりでなく、その発展が既に更なる表現の多元的時代に達したことをも示しているのである。（筆者：国立台湾師範大学・大学院美術学科教授）



生命的體悟。其創作隨著從心所欲的人生境界而達顛峰狀態。不論版畫，及運用版畫技法延伸創作的油畫、複合媒材或裝置作品，無不帶給人強大的視覺震撼，與綿延不絕的生命能量。

展出作品涵蓋早期傳統的《東方人文系列》，留日期間寫景、寫意的《心窗系列》，到就職於台灣藝術大學後藉由再造型與再構成表現的《繽紛系列》、《生之讚歌》與《捲簾系列》，與二〇〇〇年後注重色彩與心象表現的《心情系列》，技法更達到純熟、自由與多樣化。近期自由揮灑、充滿能量的《自然能量系列》、《萬花筒》系列，創作更臻於巔峰。

《萬葉集》的展出，可說展現了鐘有輝源源不絕的旺盛創作衝力，不只結集他多年研究發展的各式複合版畫創作，與藝術融入生活作品，如汽車車體的印製、玻璃、陶瓷與數位的運用等，更於開幕當天，將作品結合服裝請名模走秀。不同時期的系列創作，猶如一頁一頁高低起伏的生命樂章，不斷地奏出正向的能量，協和、交融地展演在觀眾面前。如此卓絕的表現，不只代表著鐘有輝四十多年來耕耘台灣現代版畫園地的心血與成果，也標示著台灣現代版畫的發展，已到達更具多元與表現的時代。（作者為國立臺灣師範大學美術系所教授）





## 「いだてん」の 嘉納治五郎先生をご存じですか？

皆さんは、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」をご覧になっていますか？

日本から初めてオリンピックに選手として1912年ストックホルム大会に参加した「マラソンの父」金栗四三（かなくり しそう）と、1964年の東京オリンピック招致に尽力した田畑政治（たばた まさじ）元日本水泳連盟会長が主役となっています。

が、その2人を凌ぐほどの存在感を放っているのが、役所広司さん演じる嘉納治五郎（かのう じごろう）先生です。1882年講道館柔道を設立し、「柔道の父」「日本体育の父」と呼ばれていますが、筑波大学とも大変縁の深い人物でもあるのです。

嘉納先生は教育者としての功績も大きく、（筑波大学の前身）東京高等師範学校の校長を3期23年半に亘って務められました。日本人初のIOC委員を務め、東京オリンピック招致にも大きな影響を与え、そして日本の学校教育の充実、体育・スポーツの発展更には日本におけるオリンピックをスポーツと教育の両面から推進した人物でもあります。

嘉納先生が提唱した「精力善用」「自他共栄」は、今の時代でも通用する大切な理念ですね。

さて、その嘉納治五郎先生は、今なお



★写真提供 / 照片提供  
齋藤安奈（2019年1月撮影）

筑波大学のキャンパスにいらっしゃいます（写真）。この立像があるのは、入学式や卒業式・学位授与式の時に、華やかな学生たちで賑わう学生会館前広場です。嘉納先生の生誕150周年を記念して、2010年にこの立像が作られました。母校に足を運ぶ機会がありましたら、是非そのお姿を仰いでみてください。

更に詳しいことは、筑波大学体育系教授 真田久先生の「筑波大学 オープンコースウェア 筑波大学と嘉納治五郎～逆らわずして勝つ～」で学べます。[https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/%E4%BD%93%E8%82%B2%E5%AD%A6/conquer\\_by\\_yielding/](https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/%E4%BD%93%E8%82%B2%E5%AD%A6/conquer_by_yielding/)

こうして嘉納治五郎先生を身近に感じると、「いだてん」が更にお楽しみになれると思います。



## 你知道 〔韋駄天〕中的嘉納治五郎老師嗎？

不知道各位是否有欣賞2019年日本NHK大河劇〔韋駄天-東京奧運故事～〕？

故事主軸環繞在日本第一位參加斯德哥爾摩奧運〔馬拉松之父〕金栗四三（KANAKURI Shiso），以及致力爭取1964東京主辦奧運的前日本游泳聯盟會長田畑政治（TABATA Masaji）。

然而，超越此二人更散發出讓人深刻難忘的卻是役所 司所飾演的嘉納治五郎（KANO Jigoro）老師。1882年創立柔道講道館，素有〔柔道之父〕〔日本體育之父〕美名的嘉納老師其實與筑波大學淵源甚深。

嘉納老師身為教育家功績彪炳，歷任3屆（筑波大學前身）東京高等師範學校校長長達23年半。榮任日本第一位IOC（國際奧林匹克）委員，在爭取東京主辦奧運貢獻卓著。同時大力推行充實學校教育，發展體育運動，並提倡日本奧運從運動和教育兩面同時並進。

嘉納老師標榜〔精力善用〕〔自他共榮〕，時至今日仍為合乎潮流的重要理念。

話說嘉納治五郎老師，至今仍駐足筑波（照片）。老師的立像矗立在筑波入學典禮，畢業典禮，頒贈學位時熱鬧非凡的大學會館前的廣場上。此立像是為了紀念嘉納老師150周年冥誕而作。諸位如有機會來到母校，務必親仰其丰采。

如欲進一步瞭解有關嘉納老師，可以參閱筑波大學體育系教授 真田久老師的〔筑波大學開放課程網站 筑波大學與嘉納治五郎-借力使力自然取勝～〕

[https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/%E4%BD%93%E8%82%B2%E5%AD%A6/conquer\\_by\\_yielding/](https://ocw.tsukuba.ac.jp/course/%E4%BD%93%E8%82%B2%E5%AD%A6/conquer_by_yielding/)

相信更能貼近嘉納治五郎老師。如此一來也能夠更有趣的欣賞〔韋駄天〕這齣大河劇。



### ★参考サイト/參考網頁

筑波大学HP>大学概要と基本情報>嘉納治五郎

<http://www.tsukuba.ac.jp/about/kano/>

筑波大学「嘉納治五郎とオリンピック・ムーブメント講座」

<https://www.youtube.com/watch?v=4mmH4oXruFk>

リスク対策・com 危機管理とBCPの専門メディア「講道館柔道の祖・嘉納治五郎・再説～その国際感覚と徹底した平和主義～」

<https://www.risktaisaku.com/articles/print/8946>



## つくばと私～昔と今～

文・齋藤安奈

つくばとの縁は中学時代まで遡る。筑波大学の前身である東京教育大学出身の父から折に触れて「つくば」という地名を耳にした。特に、1985年につくばで開催された国際科学技術博覧会（通称：つくば万博）で、つくばの名がさらに印象づけられた。当時父は、万博を見るためにつくばまで足を運び、台湾に帰国するなり、「つくばはいいところだ。東京教育大はいいところに移転した。将来筑波大学を受けてみなさい。」と言い出した。

「筑波大学」の名前が素敵だと思った。大学の資料を高校2年生の時に取り寄せると、住所は「茨城県新治郡桜村…」だった。住所に台湾では見たことがない「郡」や「村」がつくことにワクワクした。日本で唯一村にある国立大学だ。しかし、私が受験する頃には市町村合併で人口14万人のつくば市になっていた。

受験のため、はじめてつくばへ行く日がやってきたものの、「茨城県」がどこにあ

るのか知らなかった。学校案内にあった簡単な首都圏の地図を見て、「まあ、東京の近くだろうな」とぼんやり思っていた。受験の前日に母と東京駅八重洲南口からつくば行きの高速バスに乗り、隅田川沿いの首都高速道路を通ったとき、東京の景色に興奮したことを今でも覚えている。しかし、しばらくすると辺りは一面の田園風景となり、「私は一体どこへ行くのだろう」と一抹の不安がよぎった。常磐道の桜土浦インターを降りると、目の前に広がる風景はまるで違っていた。整備された東大通りに素敵な街路樹、広大な敷地の研究所—NASDA（現JAXA）、つくばセンターのバスターミナルは近未来的な設計だった。そして筑波大学のキャンパスは自然が豊かで美しかった。「日本なのに日本離れした空気感」を感じ、つくばに一目惚れした。「ここに住みたい。筑波大学に、絶対に合格したい」と心に決めた。

私の父は台湾人で母は日本人。両親は日本で結婚した後台湾へ移り住んだ。私は台湾の高雄で生まれ育ち、高校まで現地校に通っていた。母が長年台湾の大学で日本語教育に携わっており、その影響で将来は日本語教師になり、台湾と日本の架け橋になればと思っていた。そのため、筑波大学では第二学群日本語・日本文化学類（日文学類）に入学し、修士課程の地域研究研究科でも日本語教育を専攻した。

## 筑波與我～今與昔～

文・齋藤安奈

與筑波結緣應回溯到我中學時代。記得當時三不五時會聽到畢業於筑波大學前身東京教育大學的父親提到「筑波」這個地名。尤其1985年在筑波舉行了國際科學技術博覽會（簡稱：筑波萬博）更讓我留下深刻印象。當年父親為了參觀博覽會，特意去到筑波，回國之後立刻對我說：「筑波是個好地方，東京教育大真是遷到一個很棒的地方。將來妳去考考筑波大學吧。」

「筑波大學」的確校名很美。高二時索取筑波大資料，看到它的地址是「茨城 新治郡 櫻村…」，在台灣不曾看過地址是「郡」啦「村」之類的字眼，滿心充滿了期待。

為了參加考試前往筑波的日子終於到來，然而「茨城縣」位於何處？完全沒概念。看看學校簡介圖，沒動大腦以為「喔，就是東京周邊吧」。考試前一天，和母親從東京車站八重洲南口搭乘開往筑波的直達巴士。通過沿著隅田川的高速公路，看到沿途的東京景色，興奮莫名的感覺至今記憶猶新。但是，當車行一段時間後窗外變成一片田園景色，心中開始湧上一抹不安，「我究竟要去哪啊」。巴士下常磐道櫻土浦交流道後，眼前展現的是全然不同的風景。規劃完備的東大通有美麗的路樹，廣大的建地上的NASDA研究所（現JAXA），「筑波中心」的巴士總站呈現近未來的設計感。筑波校園大自然豐沛優美。當下感到，「同樣的日本，卻有遠離的氛圍」，我一眼就愛上筑波了！立刻決定「我要住在這裡！我一定要考上筑波！」。



家父是台灣籍，家母為日籍。父母在日本結婚後移居台灣。我出生，成長於台灣高雄，一路讀到高中畢業。家母長期任教於台灣，從事大學日語教育工作，受此影響我希望將來成為日語教師做台・日間交流的橋樑。當我進入筑波大時選擇第二學群日本語・日本文化學類（日文學類）。後來進入碩班地域研究科，也是主修日語教育。

第一次離家獨立生活，心中滿是不安。





はじめての一人暮らしは、不安でいっぱいだった。筑波大学の学生は日本各地そして世界中から来ており、同じ思いの人がほとんどだった。私は一人ではない。つくばには多種多様な人がいて、「みんな違ってみんないい」。宿舍生活では、大いに友情と人間力を育むことができた。また『台湾留日同学会』も心のよりどころになっていた。新入生歓迎会、端午節、中秋節、忘年会、新年会など、行事ごとに台湾出身の留学生が集まり、故郷の思い出話に花を咲かせて、寂しさを紛らわすことができた。1988年当時は80名ほどメンバーがいたが、現在は50名ほどまでに減ったそうだ。筑波大学で学び、自然豊かなつくばで暮らせたことは本当に幸せであり、つくばでできた



友達是一生の友達となった。

結婚を機につくばを離れ、千葉県で暮らすことになった。そして東京にある日本語教育関係の出版社に勤めた。つくばを離れても、つくばが恋しく、ときどき「里帰り」をしていた。娘の初節句の際に筑波山に登ったり、週末に天久保にあったイタリア料理店『アンジェロ』や『筑波ハム』のレストランに通ったりしていた。美味しい野菜を求めて『みずほの村市場』に行ったりしていた。離れていてもつくばとつながっていたかった。またいつかつくばに住みたいと思っていた。

つくばといえば、学生や研究者の街というイメージが強く、中心部には学生のアパートや公務員宿舍が林立しており、住宅地が少なかった。また、「常磐新線の早期開業を」のスローガンを長い間耳にしていたが、なかなか実現されず、千葉県や東京都に通勤する我が家にとって、移住は難しかった。つくばから離れていた15年の間に、ようやく「常磐新線」と言われていた首都圏新都市鉄道（通称：つくばエクスプレス（TX））が開通した。日本自動車研究所の敷地だった場所には、TXの研究学園駅ができ、周辺には大型商業施設の「イーアスつくば」やつくば市の新庁舎ができた。住宅街も整備され、米国資本のコストコや24時間営業のスーパーマーケットなどの商業施設が次々と開店している。TXの開通により、東京方面への通勤の問題が解決された。また教育面では小中一貫校が新規開校し、子どもたちの通学問題も解消された。我が家も7年前（2012年）に研究学園地区への移住が実現し、念願だったつくば生活

其他的筑波同學也大多來自日本各地或世界其他的國家，大家感受相同，其實我並不孤單。筑波校園有各色人種，[國度不同，都是好人]。宿舍生活大大孕育了彼此友誼和人的力量。還有就是[台灣留日同學會]是我們心靈的倚靠。新生迎新會，端午節，中秋節，忘年會，新年會……。任何的節日，台灣同學都會齊聚一堂，說說故鄉事，消散心理寂寞。1988年當時約有80名同學，據說如今已驟減到50人左右。共聚筑波學習，一同生活在豐富的大自然環境是多麼幸福，在這裡交的朋友成了一生永久的朋友。

因著結婚我離開筑波，定居千葉縣。同時，服務於東京日語教育相關的出版社。遠離筑波，卻仍無法忘情筑波，經常[返鄉]。女兒的第一個[女兒節]去筑波山登山，週末常往返天久保的義大利餐廳[Angelo]，[筑波火腿]（Tsukubaham）餐廳。為了買美味的蔬菜特意去到[瑞穂之村市場]。這些，無非就算離開筑波，卻情牽筑波。心想總有一天再搬回筑波居住。



說到筑波，印象鮮明的是學生和研究者的城市，市中心學生公寓，公務員宿舍林立，鮮少住宅區。當時[希望常磐新線儘速通車]的口號震天嘎響，卻很難實現，對於通勤往返千葉和東京的我家來說搬回筑波何其困難。離開筑波15年歲月，終於所謂的[常磐新線]首都圈新都市鐵道(通稱:筑波特快電車（TX）)通車了。原來的日本汽車研究所建地，設置了TX研究學園站，周邊大型商業設施[Iias筑波]，筑波新市政廳等等於焉形成。住宅街區也趨完備，美資COSTCO好市多賣場以及24小時營業的超市等商業設施競相開店。因為TX通車，解決了往返東京的通勤問題。我家於7年前(2012年)得以實現移居研究學園區，再度開啟朝思暮想的筑波生活。

市區內有筑波大學以及很多政府，民間企業的研究中心，還有將近300的研究機構和公司企業。這些機構裡除了日本人還有為數眾多的外籍人士。他們的子女進入市內中小學開始學校生活，針對外籍兒童學生的日語教育自然不可或缺。筑波市，大約在30年



が再び始まった。

市内には筑波大学をはじめ、多数の国や民間企業の研究拠点があり、300に及ぶ研究機関や企業がある。これらの機関には、日本人だけでなく、外国人も多くいる。その子弟たちは市内の小中学校に転入し学校生活を送るため、外国人児童生徒に対する日本語教育は不可欠となっている。つくば市では、吾妻小学校の保護者が約30年前に「風の会」を立ち上げ、日本語ボランティアの取り組みを始めた。そして、市内の各小中学校にこの取り組みを広げ、外国人児童生徒のサポートを続けている。娘の通う新設校も例外ではなく、「風の会」になって学校の保護者数名と日本語ボランティアの会を立ち上げた。立ち上げメンバーには、偶然に筑波大学の日日学類の後輩もあり、これは一緒にやるしかないと思った。この日本語ボランティアが縁で、つくば市国際交流協会の通訳にも登録することになり、毎年「外国人のための高校進学ガイドンス」に通訳として参加している。現在はボランティア活動続けながら、つくば市内の日本語学校に日本語教師として勤務している。日本語教育以外に、台湾企業の日本進出の手助けもしており、展示会や会議で通訳を行っている。台湾の良いものを日本に紹介し、台湾とつながってられるのはとてもうれしいことである。やりがいも感じている。台湾と日本の架け橋に、自分なりに一歩近づいた気がする。

学生時代には、つくばの中心部はつくばセンター界隈であったが、今ではその街の賑わいを見ることができる場所は徐々に周辺に移動してきている。西武百貨店、ジ



ャスコ（現イオン）、第一ホテル（現オークラフロンティアホテルつくば）、ノバホール、バスターミナル、キネカ筑波（映画館）、図書館、銀行など、すべてセンター地区（現つくば駅周辺）に集中していた。しかし時代の流れとともに、市内各地にショッピングモールが作られ、しだいに人の流れは変わっていった。センター地区の中心である西武百貨店とジャスコそしてアイアイモールまでもが撤退することになった時には、学生時代には想像もできなかったことに驚き、少し寂しい気持ちになった。センター地区では、公務員宿舍の廃止に伴って、マンションが次々と建設されている。小中学校の校舎も増築が必要となった。つくば市は市内の人口移動だけでなく、市外並びに県外からも、つくばの良さを知り、我が家と同様に移住してきた新住民が多くいる。

私が初めてつくばを訪れてから30年経った。荃崎町もつくば市に編入され、TXが開通してからつくば市は開発が進み、今では、人口22万人の都市に成長した。開発はまだ現在も続いている。私にとって、つくばは第二の故郷である。これからさらなる発展をしていくつくばを見守っていききたい。



前就由吾妻小學家長會組織了[風之會]致力日語志工活動。並擴及至市內各中小學，持續支援中小學的外籍兒童學生。我女兒讀的是新成立的學校，也不例外仿照[風之會]模式，和數名家長共同發起了日語志工會。很巧志工會發起成員中有筑波日日學類學妹。當然我就只能和大家一起投入志工活動。也是因緣此一活動，我申請成為筑波市國際交流協會口譯人員。每年都以口譯人員身分參與[專為外籍人士舉辦的升高中輔導說明會]。目前一面從事志工活動，並在筑波市內的日語學校擔任日語教職。除此，也幫助台灣企業進入日本市場，在各種展示會，會議中做口譯。透過我，把台灣的好東西介紹給日本，能夠和台灣氣息相牽十分欣喜。深感非常有意義。自覺更趨近成為台・日橋樑的一天。似乎自己作為台・日橋樑又更接近了一些。

在我就讀筑波的時代，筑波鬧區是靠近[筑波中心]那一帶，如今當年榮景已漸漸往

外緣移動。當年的西武百貨店，超市JUSCO（現AEON），第一飯店（現筑波大倉先鋒飯店），Nova Hall(音樂廳)，巴士總站，キネカ筑波kineka筑波(電影院)，圖書館，銀行等等，全都集中在[筑波中心]附近(現在筑波車站周邊)。隨著時代巨輪轉動，市區各地購物中心林立，帶動凝聚了人潮。曾經是[筑波中心]最核心的西武百貨店，JUSCO，甚至aiai mall(餐廳街)也不敵時代潮流紛紛撤店。這在我學生時代絕對無法想像，吃驚之餘不禁落寞。隨著[筑波中心]拆除公務員宿舍，大廈住宅一棟一棟林立，中小學校校舍也亟須擴建。不僅筑波市內居民的移動，市外以及外縣市的人們也了解筑波的好，和我們家一樣很多移居而來的新住民。

距離我第一次來筑波倏忽30年。荃崎町已併入筑波市，TX通車後筑波市不斷開發進步，目前已成長為22萬人的都市，開發建設仍持續中。對我而言，筑波儼然已是第二故鄉，我會守護她看著她繼續繁榮成長。





# 筑波大学に留学して

文●陳祥（人文社会科学研究科国際日本専攻研究 博士後期課程3年生）

筑波大学に入って3年目を迎えました。入学当初は右も左もわかりませんでした。今は台湾から戻ってくるとホッとするほど馴染んでいます。筑波は都会のような華やかさはありませんが、キャンパスを取り巻く美しい自然の風景は、学業の疲れを癒してくれます。これはこの大学の魅力の一つです！筑波大学はとても国際化された大学で、キャンパスには日本人学生の他、世界各国からのエリートの姿もあります。外国語能力を向上させる、グローバルな視野を持つ、人脈を広げる等のことも筑波で実現できます！近年は日台友好の関係で、筑波大学と台湾との交流も益々盛んになってきました。大学に関することは、どんなことでも台湾留学生で作る学生会にお気軽にお問い合わせください。是非皆さん



も筑波大学に来てこの魅力に直接触れてみてくださいね！

## 筑波大學留學心聲

來到筑波大學進入第三個年頭。從一開始的陌生害怕，到現在每當從台灣回來竟然會有一種熟悉放鬆的心情。筑波並沒有像大城市一般有光鮮亮麗的外表，但環繞校園的自然風景保證可以讓你在沉重的學業壓力中得到心靈淨化。我想這也是這所學校的魅力之一吧！筑波大學是一所國際化的大學，除了日本學生以外在校園中

有來自世界各國的精英。提升外語能力，拓展全球國際視野及建立人脈關係是在筑波大學可以做到的事情！近年，因為日台友好的關係筑波大學與台灣的交流越來越頻繁。想知道任何關於學校的訊息也都可輕鬆透過由台灣留學生組成的學生會來取得。最後，誠心邀請大家親自來感受筑波大學的魅力！

# G30プログラムについて

文●謝昊容（School of social and international studies, College of social science 3年生）

G30というのは単なる英語プログラムではなく、自身の国際観が上げられる所です。学生は様々な国から来ており、中にはたぶんこれまで聞いたことのないような国もあります。小クラス制の授業は討論によって進められ、アジアでよく見られるような講義形式とは違います。こうした環境の中で、様々な異なる文化との相互交流を通していろいろな国に対する理解が深まります。授業を通して物事を多角的な視点から捉えることができ、この世の中には全く異なる答えがあるということが学べます。

このような多面的な環境でも、日本を理解する機会を失うことはありません。G30には素晴らしい日本語の先生もいて、

日本に関するたくさんのカリキュラムも用意されています。そこでは自身の国際観と同時に日本の独特の文化や精神を理解し学ぶことができます。

G30は、まるで未知の小宇宙のようです。入る前はどのような人や物事との出逢いがあるか全くわかりません。そしてそれらの人や物事は毎年毎年入れ替わります。しかし、その未知の領域に一步踏み込んで探索を始めると、全く予想もしていなかった収穫があるのです。



## Global 30 Program

G30不單純只是一個英語學程，更是能加速自我國際觀的一個地方。學程中的同學們來自許多不同國家，這之中不乏有些可能你人生中都未必聽過幾次的國名。小班制的課堂編制採納了更多的討論時間，取代亞洲普遍常見的聽講模式。在這樣的環境之下，大量不同的文化彼此交流，漸漸地在耳濡目染之中對各個國家也有了更深刻理解。課堂的氣氛令看待事物的角度也變得更多元，時時刻刻叮囑著學生們，這世界上的另一端或許會有完全不一樣的解答。

身處在如此多元的環境之下，同時也不會失去好好理解日本的機會。G30除了優良的日語師資之外，也有著許多與日本相關的課程，充實自身國際觀的同時也能夠好好的理解、學習日本那獨有的文化精神。

我會跟別人解釋G30就像是一個未知的小宇宙，在你進去之前會完全沒有頭緒你將遇到哪些人、事、物，它的組成每年都在變化，每年都有新的族群來來去去。但是當你決心踏入這片未知領域進行探索後，你得到的將會是滿滿意想不到的豐收。



## 筑波大學 台灣校友會親睦會

台北 (2018年5月18日)

2018年5月18日に台北市内の日本の居酒屋「風こみち」に11名が集まりました。

今回は、筑波大学からの交換留学生やインターン生等、日本人の学生さんたちも参加していただきました。



年齢や分野（経済、政治、教育、スポーツ等）を超えて、仕事の話や筑波の懐かしい話に花を咲かせ、台湾・日本の校友たちの交流を楽しく深めることができました。

台北 (2018年8月2日)

2018年8月2日、陳碧涵先生の自宅に筑波大学の校友が集まり、人数以上に中身の濃いひと時を過ごしました。張裕惠先生は当会の林華章会長と陳碧涵先生よりも1年早く筑波大学の修士課程で学んでおり、3人は平砂宿舍で生活圏を共にしていました。林華章会長が台湾学生会会長を務めていた時期には、2人は台湾学生会のイベントに熱心に参加し協力する等、大変深い交流がありました。3人はスポーツやアウトドア活動にも積極的でしたが、台湾に帰国してからは

林会長と陳先生は台中市にある国立台湾体育運動大学で、張先生は台北でそれぞれ教職に就き、仕事に追われる中で会う機会は減っていきました。今回の親睦会では陳先生宅の屋上からの美しい夜景を眺めながら美味しいビールとお食事を楽しみ、約30年ぶりの再会を互いに喜び合いました。そして、台湾幹事に張裕惠先生も加入。学生時代のように手を携えて、校友の皆さんのお役に立てるべく努力していきたいと思えます。

台中 (2018年10月18日)

2018年10月18日夜、林会長の呼びかけにより中部地区の校友たちが勤美誠品綠園道近くの創作料理店に集まりました。南部地区の李柏旻副教授も駆けつけ、筑波大学での留学生活の思い出や当時の学生会の活動等々について話に花を咲かせました。集まった校友たちは皆大学教員であることから、台湾での高等教育の現状や展望にも話が及びました。今回初参加の東海大学美術学科助理教授の林彦良先生は、1999年に筑



波大学芸術修士号を取得。早速校友会にも加入しました。

## 筑波大學台灣校友會共聚一堂

台北 (2018年5月18日)

2018年5月18日於台北[風小路]居酒屋 11 人小聚會。

這次有筑波大學交換留學生，實習生等日籍學生參與聯誼。

跨越年齡，專攻領域（經濟，政治，教育，體育等）大家共聚一堂暢談工作，筑波的懷舊往事，加深了台灣・日本校友彼此愉悅的交流。

台北 (2018年8月2日)

2018年8月2日，陳碧涵老師邀請筑波大學的校友們到老師家的頂樓聚會，當天參加的校友不多，卻別具意義。張裕惠校友比林華章和陳碧涵早一年就讀筑波大學修士課程，三人在平砂宿舍生活圈常常相遇，在林華章擔任台灣學生會會長期間，她們都全力支持並協助學生會活動的推動，三人建立了非常深厚的友誼。並且，三人也都非常喜歡運動和戶外活動，畢業回台後，林和陳同在台中市的國立臺灣體育運動大學任教，而張在台北教書，因工作地點不同，工作繁忙，故見面的機會越來越少。此次聚會是陳與張近三十年來的首次再聚，實在令人欣喜萬分。當晚在美



味的啤酒、美食和美麗的夜景下，大家渡過了美好的時光，並邀請張加入台灣幹事會，像當年一樣，大家一起攜手協力共同為校友們服務。

台中 (2018年10月18日)

中部地區校友們在林會長的邀請下，2018年10月18日晚間於誠品綠園道附近的創意料理店辦理地區校友年度聚會，南部地區的李柏旻副教授亦北上共襄盛舉，當日校友們分享留學期間生活及求學的點點滴滴，以及當時學生會的運作等等。因為校友們均服務於大學，會中話題亦涵蓋我

國高等教育的願景與方向。

本次首次參加校友會活動者為服務於台中市東海大學美術系的林彥良助理教授，林老師於1997年至1999年留學本校獲得藝術碩士，會長及與會校友已經邀請林老師加入同學會。



台北 (2018年12月27日)

2018年12月27日は、陳碧涵先生の熱々の鍋料理と老協珍チキンスープ、許さん夫婦のおいしいデザート、王さん夫婦のみずみずしく甘いりんごを囲んで、心もお腹も大満足の温かい冬の夜になりました。

陳碧涵先生が1989年に筑波大学を修了した後に許人杰さんと李慧珍さんが筑波大学社会科学部研究科に入り、2人が修了してから王欽彦さんと郭瓊梅さんは筑波大学環境科学の修士課程に入りました。

世新大学で教鞭を執り、学務長も務めた経験がある許人杰さんは、才能に溢れ学生たちからも人気があります。李慧珍さんは日本企業に勤務し会社から厚い信頼を受けています。環境保護署で管理職に就いている王欽彦さん夫婦は、嘗て新竹市の環境保護局長も勤めたことがあります。

台北 (2018年12月27日)

2018年12月27日，這是一個寒冷的夜晚，陳碧涵老師準備了熱騰騰的火鍋和老協珍雞湯。許人杰夫婦帶了美味的甜點，王欽彦夫婦準備了香甜多汁的蘋果，讓聚會有滋有味，五感十足。

這是一個忘年之交的校友聚會，陳碧涵在1989年筑波畢業多年後，許人杰、李慧珍才進入筑波社會科學研究科就讀，而王欽彦和郭瓊梅則是在許氏夫婦畢業時才進入筑波環境科學碩士課程的。

許人杰在世新大學任教也擔任過學務長，才華洋溢，深受學生喜愛。李慧珍則在日本企業服務，備受公司倚賴。王欽彦

今回集まった5名は異なる時期に筑波にいて異なる時期に知り合ったのですが（それぞれに共通の友人を通して知り合いました）、現在は5人は時間を越えたお付き合いがあり、筑波大学校友会が成立したことでその交流は更に深くなりました。仕事やプライベートでの出来事などを分かち合い、互いに励みになっています。美しい夜景と身も心も温まる鍋料理を楽しみながら、笑い声に溢れる集まりになりました。



夫婦則在環保署擔任高階主管，也曾出任新竹市環保局局長。

這五人在不同時期就讀筑波大學，是緣分讓五人於不同時間相遇，又先後再間接相識。（陳與王氏夫婦因為一位共同的朋友而認識，二年後，又因同一位朋友而再認識了許氏夫婦），現在五人成了忘年之交，又因筑波大學台灣校友的成立，使得互動更加緊密，常分享工作心得和生活喜樂，並互相加油打氣。

這次的聚會在美麗夜景和暖胃的火鍋與笑聲下畫下句點。

## 十五年に一冊

文・邱若山（靜宜大学日本語文学科教授兼翻訳研究センター主任、台湾現代詩人協会理事長）



林華章会長より仰せつかりました校友会誌上での著作紹介。実のところ、筆の渋る難事です。固陋浅薄を顧みず、貧弱なる拙作を自ら語らせていただきます。

私は1986年4月に筑波大学に赴き、博士課程文芸言語研究科を単位取得後1992年に帰国。翌年都落ちして台中の靜宜大学に専任の職を得、今年満25年です。

任職中、二冊の学術書を出版しました。『佐藤春夫台湾旅行関係作品研究』（致良出版、2002年9月）と『佐藤春夫と台湾—台湾旅行作品研究続篇』（樺豊出版、2017年2月）です。

共に筑波にいた時からの研究課題で、佐藤春夫文学は、特に大正9年（1920）に植民

地台湾を訪れた一夏を舞台とした名作についての研究論文です。日本近代文学研究と台湾文学研究の両面で重要で有意義な仕事だと自認しています。前者は修論提出後の約十五年に書いた七本の論文集、続篇になる後者は次の十五年に貯めた九篇の結集で、これにより自分の学問世界の形成に至りました。

学术界での任職中には、もう次の十五年はありません。歩みを速めて、書き溜めた論考を整理し、退職までに年に一冊の論文集、一冊の翻訳を上梓することを自ら期しています。

この度、自分の学問の道の原点は筑波にあると改めて悟りました。ご紹介の場をいただき、感謝いたします。

## 十五年一本書

文・邱若山（靜宜大學日本語文學系教授兼翻譯研究中心主任、台灣現代詩人協會理事長）

承林華章會長的指示，在本期的校友會刊上介紹自己的著作。說真的，還真難下筆。在這裡就不揣固陋淺薄介紹自己貧弱的成果，和大家分享，也請大家多指教。

我在1986年4月前往筑波大學，修完文藝言語研究科的學分後，於1992年5月回台，翌年進入靜宜大學專任教職，今年剛好滿25年。

這期間，為了升等，寫了兩本專著：2002年9月的《佐藤春夫台湾旅行關係作品研究》（致良出版社）和2017年2月的《佐藤春夫と台湾—台湾旅行作品研究続篇》（樺豊出版社）。這兩本書是我從筑波時期就展開的主要研究課題：日本近代名作家佐藤春夫的研究，特別是關於佐藤春夫於大正九年（1920）來台灣旅行三個月，寫出十來篇以殖

民地台灣為舞台の小説、遊記的名作。不管站在日本近代文學或台灣文學的立場而言，這個部分的研究，都是很重要、很有意義的工作。從我在筑波提出碩士論文約十五年之後，以七篇論文匯集成第一本書，之後再經過約十五年以九篇論文再匯集為續篇出版。這兩本主要著作的出版，使我獲得學術上的肯定。

在學術界工作的時間，已沒有再一個十五年，希望自己不再龜速或蝸牛爬行，希望把以前累積下來尚未結集的成果努力整理，在退休之前，每年出版一本論文集，一本翻譯書。回想自己學問形成的來時路，原點就在筑波大學。有此機會和校友會的學長姐學弟妹們分享我的小小成果，非常感謝。



## 筑波大学台湾オフィス便り

文●大庭良介（筑波大学台湾オフィス所長）

皆様、こんにちは。会報第三号おめでとうございます。昨年も皆様のお力をお借りしながら、スタッフの林佳瑤とともに何とか台湾オフィスの活動を進めて参りました。また、筑波側では阿部ピーター淳一先生が副所長として、矢沢仁美氏が第6代台湾オフィス担当の本学国際室スタッフとして活動を支えてくれています。

筑波大学と台湾は、その前身機関（東京教育大学や高等師範学校）の時代から、産官学民の様々な分野で人材交流を進めてきました。本オフィスでは、関係大学・機関等との学術交流活動支援、学生の相互派遣交流支援、校友会活動支援など、さらなる交流の加速と定着を目的に活動を進めています。

2019年1月1日現在、昨年から、国立台北大学が協定校として加わり、16の大学・機関と協定を締結しています。2018年には、筑波大学から台湾へ、多数の短期留学生のみならず、10名を超す筑波大学からの長期留学生を迎えるまでになりました。長期留学生数は2015年度の10倍以

上となります。これも皆様のご支援あつてのことと考えております。この場を借りて御礼申し上げます。

また、高校への訪問（大学入試説明会）や、台湾産業界や台湾行政と筑波大学との仲介などもしています。台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

最後になりますが、筑波大学では「筑波大学基金」として、校友の皆様より寄付を集めております。学生への経済支援、学生の国際交流支援、学生及び団体の課外活動支援、附属学校の活動支援、大学と卒業生の交流支援、筑波大学スポーツ活動支援、附属病院活動支援を目的としています。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。ご質問などありましたら、筑波大学台湾オフィスまでお気軽にお問合せください。

筑波大学基金ホームページ：<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/index.html>

校友の皆様のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



## 筑波大學台灣辦事處

文●大庭良介（筑波大學台灣辦事處處長）

大家好。恭喜台灣校友會發行了第三期會刊。去年承蒙各位鼎力相助，我與林佳瑤小姐組成的台灣辦公室的活動才得以順利推行。並由阿部淳一擔任副處長，以及本校國際處同仁矢澤仁美小姐為負責台灣事務的第六任專員，在各方面協助我們推動各項活動。

筑波大學與台灣的淵緣深遠，從前身大學——東京教育大學、高等師範學校的時代開始，在產官學界及民間，均廣泛進行各領域之人才交流。本辦事處成立後，也致力於大學間的學術交流、交換學生的派遣、校友會的活動等，在各項交流活動上 給予支援。

去年，我們和國立台北大學簽訂了合約，所以在2019年1月1日現階段為止，我們在台灣擁有16個姊妹校。2018年度，從筑波大學到台灣來了為數眾多的短期留學生，而長期的留學生也超過了10位，與2015年度相比，是十倍以上的數量。這都是 因為有了諸位的幫助與指導，藉這個機會，向大家致上最深的感謝之意。

另外，本辦事處為了更加扮演好成為台灣與日本間橋樑的角色，也定期到台灣北中



南各高中進行「大學入試説明會」，並且積極促成筑波大學與台灣的產業界和行政部門之間的合作。

最後，筑波大學以「筑波大學基金」的方式，提供給各位校友為母校捐款，基金用於支援清寒學生、支援學生國際交流活動、支援學生及團體的課外活動、支援附屬各級學校之活動、支援大學與畢業生校友們的交流活動、支援體育活動、支援附屬醫院之活動等。詳情請見以下網站，在此向各位校友 致上最誠摯的感謝。有任何問題都歡迎與台灣辦事處接洽。筑波大學基金網站：<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/index.html> 再次感謝各位的厚愛，靜候諸校友蒞臨台灣辦事處，親臨指導。



台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

📄 ホームページ：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 Facebook：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

台灣辦事處的各项活動，請見以下網站：

📄 官網：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 臉書：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>





筑波大学台湾オフィス所長・准教授  
大庭良介

機車  
遊台灣  
Part2



文●筑波大學台灣辦事處處長・副教授 大庭良介

## バイクでGo! 2～台湾一周～



バイクに乗って台湾を駆けたい、という欲求は、一昨年の花連・台東への旅では満たされず、とうとう4泊5日の台湾一周へ挑戦。心残りは仕事をサボるということ。そこで、道中に仕事を入れて、余暇と仕事の両立という自己満足の旅。今回のお伴は、バイク屋さんでレンタルした125CCスクーター、1日700台湾ドルなり。

7月13日（金）、晴、台北～宜蘭～花蓮～台東～墾丁。午前6時に宿舍を出発して、一気に台湾東側を墾丁へ。宜蘭から花蓮へと続く9号線はやっぱり怖い。今回は、平日でトラックが多く、トンネル続きの道で排ガスと砂埃を浴び続ける。花蓮についたころには、顔も全身も真っ黒。気を取り直して、9号線で一気に台東、そして、墾丁へ。台東から墾丁への9号線は空中を走っているようで怖いけれど、よく整備されており、景色も綺麗でとても走っていて楽しい。9号線沿いに島の西側にでて墾丁へと南下、虹の歓迎を受ける（写真）。19時すぎにホテルに到着。走行距離500km以上、流石に疲れた。カプセルホテルだけれど居心地はよし。内装は微妙（写真）、恋人同士で使うのか、、、？ホテル

前は墾丁の夜市、ビールと刺身と海鮮焼で夜ごはん、美味。熟睡。

7月14日（土）、晴ときどき雨、墾丁で一日ゆっくり。朝起きて、まずは、墾丁地方の山と丘をツーリング、で、転ぶ。湧き水にドロが混ざっており、タイヤを取られてすってんコロりん、車体が傷つく。後日の修理費8000台湾ドルなり…やっぱりバイクでGoは平和裏には終わりません。でも、景色は素晴らしい、空気も旨い。続いて、海側をツーリング。風吹岬と龍磐、風は強



宿舍入口、出発前  
宿舍門口、出発前

## 機車遊台灣Part2環島Go!



想騎機車在台灣島上奔馳の欲望、在前年挑戰花東之旅後、還是沒有得到消解、所以這次再度挑戰五天四夜環島。本來心裡還有一個過不去的點是那這幾天就算是翹班了、但後來得以把工作也插入這次環島的行程裡、所以這次是個可以兼顧工作與休閒、自我感覺良好的旅程。這次陪我完成旅程的夥伴是一台在機車行租借的125CC的機車、一天的租金是700元台幣。

2018年7月13日、星期五、晴天、台北～宜蘭～花蓮～台東～墾丁。早上六點從

宿舍出發、走東海岸一口氣從台北飄到墾丁。果然和上次一樣、宜蘭到花蓮這段九號公路還是讓我餘悸猶存。不過這次因為是平日、不僅隧道多、大卡車也多、我一路在沐浴在砂石粉塵之中、到了花蓮的時候、頭臉全身都是黑的。重新整理一下自己後、我又一口氣飄九號線到台東、然後一路下到墾丁。從台東到墾丁那段九號線公路、雖然好像在空中奔馳那樣可怕、但道路狀況極好、風景宜人、所以讓我擁有很愉快的騎乘感受。而且在我沿著九號線騎時、島的西側出現了彩虹來歡迎我。（有圖有真相）我到住宿的旅館時才晚上七點多、當天的騎乘距離有500km以上、所以果然還是好累啊。住的雖然是膠囊旅館但很舒服、房間的裝潢有些微妙（請看照片）、這應該是戀人一起來住宿用的吧？我就在旅館前面的墾丁夜市吃了生魚片、烤海鮮配啤酒當作晚餐、酒足飯飽後回房、進入熟睡。

2018年7月14日、星期六、晴時偶雨、墾丁悠哉一天。早上起床先到墾丁附近的山丘騎機車散步、然後、一不小心就…摔車了。地下水混著泥濘、輪胎就這樣失控滑下去了、機車的側面刮傷。之後花了8000元台幣賠給機車行當修理費、果然我的「機車遊



墾丁の虹  
墾丁的彩虹







1. 龍磐から望む



2. カプセルホテルのカプセル内装 3. 墾丁の海水浴場

1. 從龍磐眺望 2. 膠囊旅館內部 3. 墾丁的海水浴場



4. 台中校友会の皆さまと 5. 八田與一像とともに（烏山頭ダム）

4. 與台中校友會的聚餐 5. 八田與一像與我（烏山頭水庫）



くて吹き飛ばされそう、そして足元は絶壁、でも、すべてが素晴らしい（写真）。本当に生き返ります。風景自然では台湾で一番のお気に入りとなりました。台湾最南端は、、、まあまあ、、、目の前に海が広がっているだけですな、でも良い記念です。墾丁といえば海水浴場、午後になって2時間ほど波間にゆらゆら。海に入るのなんて、何年振りでしょう、いいですな。海から上がって、もう一回風吹岬と龍磐へ。夜はゆっくりと屋台街を楽しんで、カプセルで就寝。

7月15日（日）、晴、墾丁～關子嶺～烏山頭水庫～台南。朝、風吹岬と龍磐へ三度目の寄り道をしてから、關子嶺へとバイクを走らせる。泥温泉で有名なところです。服を脱いで体洗って湯船へと。痛い、ツーリングと前日の海水浴で焼けた手と背中と顔が痛い。せっかくの温泉なのに、お湯にゆっくりと浸れない。残念。温泉からでて、地鶏食べて、烏山頭水庫へ。ご存知、八田與一像のあるところです。一度は行きたかったところ。一昨年破壊されたと聞いていたけれど、すぐに修理してくれていたんですね。一緒に写真をパチリ（写真）。

その後、台南へ。台南泊。

7月16日（月）、晴、午前中は、国立成功大学を訪問。サマープログラムで、筑波大学から送っている学生達と会って無事を確かめ、その後、蘇学長たちと今後の協働について会談。午後になって一路台中へ。台中では、林会長はじめ校友の方たちと会食with酒。ありがとうございました。台中泊。

7月17日（火曜日）； 朝から3号線で台北へ。苗栗から新竹に入ったあたりでパンク。。。前回のバイクでGo!に続いて今回も。山の中から誤魔化し誤魔化し里へ下りてバイク屋で修理。タイヤ交換、1000台湾ドルなり。前回と違ってお店が開いていただけ幸運です。その後、龍潭に寄った後、台北の台湾オフィスへと到着。林さんに乗せてレンタルバイク屋へ。林さんに交渉してもらったけれど、やっぱり修理代8000ドル。バイク代金（修理費込み）だけでトータル13200台湾ドルなり。ちょっと高くついた旅となりました。

前回も書きましたが、ハプニングも込みで楽しめます。もちろん、また行きたい。



台湾Part2」の幕後也一样没办法平平順順。但是，墾丁景色絶倫，空氣清新!我沿著海岸線騎，經過風吹岬和龍磐，風強到我好像快要被吹走，而且底下是懸崖峭壁，但是風景實在是太美了，（請看照片）讓我把所有煩惱都拋開了。台灣的自然與風景是我的最愛!我騎到了「台灣最南端」，不就只是整片一望無垠的大海，但也算是一個很棒的紀念。說到墾丁就不能不去海水浴場，我下午就在海浪裡飄浮了二個小時，好幾年沒有泡過海水了呢!好暢快!結束海水浴之後我再繞了一次風吹岬和龍磐，晚上閒散的逛逛夜市的攤販，再回到膠囊旅館就寢。

2018年7月15日、星期日，晴天。墾丁～關子嶺～烏山頭水庫～台南。一大早，我又第三度繞到風吹岬和龍磐去了之後，再往關子嶺奔馳。到了有名的泥漿溫泉，脫了衣服洗了身體跳進溫泉池裡，啊!好痛喔!騎車和海水浴讓烈日曬傷了的雙手、背部和臉上，都一陣陣劇痛。難得有機會來到溫泉地，卻沒辦法悠哉享受溫泉，真是太可惜了。從溫泉出來後，我去吃了土雞，就前往烏山頭水庫，也就是大家所熟知的那個八田與一的銅像，也是我一直很想要看看的一個地方。聽說前年銅像被破壞了，但是現在看

來很完整，我想應該是馬上又整修好了吧。既然來了一定要來個合影（請看照片），之後我就直衝台南，夜宿台南。

2018年7月16日、星期一、晴天。早上我到成功大學訪問，和來成功大學參加夏季課程的筑波大學學生見面，確定學生們一切安好；之後和成功大學的蘇校長會談，討論今後兩校的合作。下午我就一路直奔台中，當天晚上和林會長和多位台中的校友歡聚小酌，非常感謝大家，當晚住宿台中。

2018年7月17日、星期二，一早我就騎3號公路回台北。但是…在苗栗快到新竹的時候，又爆胎了。繼上次的「機車遊花東Go!」後，又再次重演了爆胎事件…我從山上辛辛苦苦的把機車牽下山，還好找到了一家機車行，換了輪胎，花了1000塊台幣。和上次不同的是這次很幸運，還能找到營業中的機車行。之後我騎經龍潭後，騎回台北到達了台灣辦事處。載了林小姐一起去還車。林小姐跟機車老闆交涉了很久，可惜還是要賠8000塊修理費，所以這次租車加修理費，總共要13200台幣!這次的旅行算是挺高價的呢!

上次我也這麼寫，但這次我也要說：包含這些意外，都讓我覺得很有趣，我還想去!





# 筑波大学台湾校友会規約

- 【名称】  
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名はUniversity of Tsukuba Taiwan Alumni Associationとし、UTTAAと通称する）。
- 【趣旨】  
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。
- 【活動】  
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。
- 【会員】  
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。  
（1）筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者  
（2）筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者  
（3）一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者  
（4）一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に従事した者  
（5）本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。
- 【賛助会員】  
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることができる。
- 【退会】  
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。
- 【総会】  
第7条  
（1）総会はすべての会員をもって構成する。  
（2）総会は次の事項について決議する。  
一 会員の除名  
一 会長、副会長の選任または解任  
一 会則の変更  
一 会計監査の承認  
（3）総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。  
（4）総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。  
（5）総会の議長は会長がこれに当たる。  
（6）総会における議決権は、会員1名につき1票とする。  
（7）総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。  
（8）会員は代理人によってその議決権を行使することができる。  
（9）総会への発議は幹事会を通しておこなう。  
（10）総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。
- 【役員】  
第8条  
（1）本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。  
（2）本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。  
（3）会長、副会長は総会の決議によって選出する。  
（4）顧問は幹事会によって選任する。  
（5）名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。  
（6）会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。  
（7）副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行し

- ねるときにその職務を代行する。  
（8）会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 【幹事会及び事務局】  
第9条  
（1）本会の運営のため幹事会を置く。  
（2）幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。  
（3）幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。  
（4）事務局長は、会長によって選任する。  
（5）事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。  
（6）幹事会は、次の活動を行う。  
一 本会の活動執行の決定  
一 本会の会計監査  
一 事業報告書の作成  
一 総会の開催  
一 会員名簿の管理  
一 筑波大学との連絡調整  
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する
- 【会費】  
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。
- 【会計】  
第11条  
（1）本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。  
（2）本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。  
（3）本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。
- 【除名】  
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。
- 【会則の発効】  
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。
- 【規約改正】  
第14条  
（1）この会則は総会の議決によって変更することができる。  
（2）本規約の解釈権は幹事会に属する。
- 【附則の取扱い】  
第15条  
（1）本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。  
（2）附則は総会の議決によって変更することができる。
- 附則  
1 本会の最初の会長は林華章とする。  
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。
- 附則  
【会費】  
第1条  
（1）本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

# 筑波大學台灣校友會章程

- 【名稱】  
第一條 本會名稱為”筑波大學台灣校友會”（英文名稱為University of Tsukuba Taiwan Alumni Association，英文縮寫為UTTAA）。
- 【宗旨】  
第二條 本會之宗旨在於服務會員，增進會員之間的友誼，期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。
- 【活動】  
第三條 本會為達成第二條之目的，將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流，舉辦聯誼會及會員提議之活動。
- 【會員】  
第四條 本會會員由以下成員組成：  
（1）在筑波大學或東京文理科學大學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者  
（2）向筑波大學提交論文獲得學位者  
（3）在筑波大學從事學習或研究一個月以上者  
（4）在筑波大學從事教育或研究一個月以上者  
（5）完成秘書處所訂之入會申請程序者。
- 【贊助會員】  
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者，經本會會長、副會長等合議後，可成為本會贊助會員。
- 【退會】  
第六條 會員可自主隨時退會。
- 【總會】  
第七條  
（1）總會由所有的會員所組成  
（2）總會將決議以下事項：  
一 會員之除名  
一 會長、副會長的選任或解任  
一 會則之變更  
一 會計監査之承認  
（3）總會定期一年召開一次，必要時可加開臨時會。  
（4）總會以幹事會的決議為基礎，由會長召集。  
（5）總會的議長由會長擔任。  
（6）總會の決議權，每位會員各一票。  
（7）總會之決議須出席會員之半數以上同意始為有效。  
（8）會員の決議權行使可委託代理人。  
（9）總會の新議題將透過幹事會提案。  
（10）總會の議事將做成會議記錄，由議長簽名蓋章。
- 【幹部】  
第八條  
（1）本會の幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。  
（2）本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。  
（3）會長、副會長由總會之決議選出。  
（4）顧問由幹事會推薦聘任。  
（5）名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦，總會認可後任之。  
（6）會長組織幹事會，並管理本會之所有活動。  
（7）副會長協助會長執行會務，於會長無法出席時，代行其職務。  
（8）會長、副會長的任期二年，可連選連任。

- 【幹事會及秘書處】  
第九條  
（1）為維持本會的營運設置幹事會。  
（2）幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。  
（3）幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。  
（4）秘書長由會長選任。  
（5）副秘書長、幹部由秘書長選任。  
（6）幹事會將執行以下之活動  
一 本會活動執行之決定  
一 本會之會計審查  
一 事業報告書之作成  
一 總會之召開  
一 會員名冊的管理  
一 與筑波大學之聯絡調整  
一 統整會員之意見，向總會提出章程及附則變更之提案
- 【會費】  
第十條 本會之會費依附則所定。另外，配合召開總會等實際活動內容之需求，得收取費用或募捐。
- 【會計】  
第十一條  
（1）本會的會計年度，由每年的一月一日開始至十二月三十一日為止。  
（2）本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。  
（3）本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。
- 【開除】  
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員，經幹事會表決通過，提交總會議決，取消其會員資格。
- 【章程の生效】  
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過，自2016年2月20日起開始生效。
- 【章程修改】  
第十四條  
（1）本章程可依總會之決議而修改之。  
（2）本章程之解釋權屬於幹事會。
- 【附則之運作】  
第十五條  
（1）在不與本會則相矛盾的情況下，可依本會的營運需求，設置附則。  
（2）附則在總會決議後可變更。

- 附註  
（1）本會最初之會長，由林華章先生擔任。  
（2）本會最初之副會長，由潘進丁及邱若山先生擔任。

- 附則  
【會費】  
第一條  
（1）本會入會費為新台幣1000元，入會時一次支付，即可成為終身會員。



Bachelor of Engineering  
Bachelor's Program in

# Interdisciplinary Engineering University of Tsukuba



筑波大学  
University of Tsukuba

[www.global.tsukuba.ac.jp/IDEngineering](http://www.global.tsukuba.ac.jp/IDEngineering)



## 編集後記

2019年3月16日の筑波大学台湾校友会第四回大会に際し、2018年の校友会の活動や母校筑波大学関係の情報を満載した会報第3号をお届けします。

林華章会長のご挨拶では、台湾OBの睦び合い、相互扶助、母校との連携、台湾と日本両国の交流及び発展への尽力を呼び掛けています。台湾校友会の成立以来、絶大な支持をくださっている永田恭介学長からのメッセージと筑波大学の歴史をご覧いただき、「創基151年筑波大学50周年記念基金」へのご賛同とご支援をお願いします。

今号では、台湾で活躍する著名な芸術家の校友をご紹介します光栄に浴しています。お二方ともに私と同じ時期の芸術研究科の所属でした。

現在母校で勉学に励む後輩の寄稿、筑波大学の活動報告やつくばの変遷の寄稿は、興味と懐かしさでいっぱいです。嘉納治五郎学長の銅像は我々の時にはなかったのですが、筑波の歴史の栄光と偉大さを教えてくれました。

校友親睦会の報告は皆さんの積極的なご参加をお誘いするのが目的です。来年の更なる盛り上がりを期待します。筑波大学台湾事務所大庭良介所長は行動をもって台湾に対する愛着を語ってくれます。

第四回大会は筑波大学より、永田恭介学長、ベントン・キャロライン副学長、金保安則副学長及び同行する諸先生方のご臨席を賜り、謹んで感謝を申し上げます。

今後とも、筑波大学台湾校友会への御支持をお願いいたします。



## 編輯後記

2019年3月16日、筑波大學台灣校友會舉行創會以來的第四次大會的日子，同時出版會刊第三號，獻給各位校友學長。本期登載了2018年校友會的活動以及母校筑波大學相關的信息。

林華章會長再度重申校友會的宗旨與目的，期待筑波大學的台灣校友能團結一致，發揮最大的能量，連結母校，貢獻台日兩國的相互交流與發展。現任筑波大學永田恭介校長，自台灣校友會成立以來，一直大力支持我們的活動，此次並賜稿詳細說明筑波大學不斷演進革新的歷史以及從現在連結將來遠大發展的願景，「創基151年筑波大學50週年紀念基金」有待校友會成員的慷慨解囊。

本期的校友專訪與介紹，刊載在台南事業有成，設立可成教育基金會，致力於文教公益事業與古蹟、地方文物保存，貢獻社會的林珍玫的事蹟；以及以版畫教學、研究、創作開拓台灣版畫界一片天的鍾有輝教授的版畫創作世

界、藝術思維與成就。兩位是和本人同時期的藝術研究科的校友。

現在正在母校埋首勤學的學弟妹們的生活與學習點滴，陳祥與謝旻容的小品，咖啡座談的訊息，都引我們興趣與懷想從前。齋藤安奈的〈筑波與我～今與昔～〉，更勾起對往昔校園景物的想念與現況的遐思。韋駄天嘉納治五郎校長的銅像敘說筑波的光榮歷史。

親睦會的報導就是要引誘校友們踴躍參加，希望明年度更熱絡。筑波大學台灣辦事處大庭良介處長對工作的熱情與對台灣的愛，從其辦事處報導以及美文〈機車遊台灣Part2環島Go!〉，充分感受。本人的拙文請大家當作山林的枯木一景！

第四次校友會承蒙筑波大學永田恭介校長、Caroline F. Benton副校長、金保安則副校長以及同行的多位教授蒞臨參加，謹此誌謝。

期待本刊下一期內容更精采豐富，期待各位校友的指教與踴躍賜稿。





## 筑波大學台灣校友會會刊 第三期

編輯 邱若山、孫寅華、服部美貴、內田康、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 林華章

出版人 筑波大學台灣校友會

台北市大安區長興街 81號2樓

02-3366-9313

出版日期 2019年3月16日

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

照片拍攝地點



目次：大学会館と第一学群  
(松美池)の間の平塚線  
を跨ぐ橋(西方向を望む)

廣告贊助校友：

和友檢驗科技有限公司 莊坤遠 (農林工学研究科博士2002年畢)

國立屏東科技大學 李柏旻 (農林工学研究科博士2004年畢)

全台物流股份有限公司 張建中 (經營政策科學研究所碩士1988年畢)

全家便利商店股份有限公司 潘進丁 (經營政策科學研究所碩士1985年畢)

筑波大学台湾校友会会費、寄付金のお振込みは、以下の口座をお願いします。

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

## 和友檢驗科技有限公司 中台科技大學環安衛分析實驗室



勞動部認可 符合 ISO 17025國際規範



感應耦合電漿發射光譜儀 - 質譜儀



微波消化器



原子吸收光譜儀



六位數精密天平



液相層析串聯式質譜儀



六位數精密天平

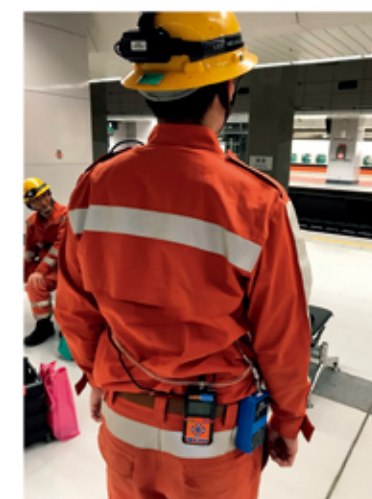


### 服務項目：

- ✓ 作業環境監測(勞動部職業安全衛生署認可)
- ✓ 職業安全衛生教育訓練(台中市政府認可)
- ✓ 職業安全衛生管理與相關技術諮詢服務
- ✓ 作業環境改善控制工程評估與規劃設計
- ✓ 化學品、重金屬、粉塵濃度分析與測試
- ✓ 檢知管直讀測定、閃火點測試
- ✓ 客製化超微量分析測試

和友檢驗科技有限公司成立於西元2017年，為台中市中台科技大學育成中心輔導之專業服務機構，以社會服務與培育專業人才為宗旨，結合職業安全衛生研究，提供專業之職業衛生管理諮詢與檢測分析服務，成立以來已獲國內製造業、食品業、運輸業等各領域事業單位委託提供服務。

和友將以職業安全衛生學術研究為後盾，提供客製化分析、環境測定與數據判讀，保障作業勞工健康。



「作業環境測定」とは「作業環境の実態を把握するため空気環境その他の作業環境について行うデザイン、サンプリングおよび分析（解析を含む）」をいい、労働者の健康確保のため、台湾と日本両国の法律で定期的な実施が義務付けられています。和友は台湾政府労働省の認可を得て、日系企業の皆様にも専門的なサービスを提供いたします。





國立屏東科技大學

National Pingtung University of  
Science and Technology

🏠 <http://www.npust.edu.tw>

☎ +886-8-7740561

📠 +886-8-7740208

✉ [oia@mail.npust.edu.tw](mailto:oia@mail.npust.edu.tw)

📍 1, Shuefu Road, Neipu, Pingtung 91201, TAIWAN  
National Pingtung University of Science and Technology

台灣で最も美しく、緑あふれるキャンパス

國際化  
Professionalization

全人化  
Spiritualization

專業化  
Internationalization

SINCE  
1924

NPUST  
TAIWAN





# 全台物流

股份有限公司

法治為本

企業永續經營之保障

創新為先

持續競爭優勢的原動力

誠信至上

誠信是客戶滿意之基礎

服務第一

開拓新客戶之利器

林口物流中心



大溪物流中心



八德物流中心



台中物流中心



全台物流為全家便利商店之關係企業

產業別 倉儲物流業

成立於 西元1989年

全台物流為國內頂尖之物流倉儲服務業者，  
一向本著『物盡其用、貨暢其流』的理念，  
透過科學化的管理與綿密的倉儲配送網絡，  
提供客戶低成本與高品質之供應鏈管理服務。

全台物流以【全方位的綜合型物流中心】自許，  
在作業技術上建構『常溫、恆溫、冷藏、冷凍、冰溫』  
五大溫層完善之物流技術。

隨著近年來外食產業興起，公司亦提供完整之商流服務，  
包含商品採購、庫存調撥及提供完整之配送服務。  
同時也獲得HACCP及ISO22000：2005食品安全管理系統雙認證。

歡迎對**物流及外食產業**有興趣者**加入我們的行列！**

自2003年起，年年名列天下雜誌之百大服務業

雲林物流中心



高雄物流中心



花蓮物流中心



## ISO政策



商品安全・客戶安心

理貨溫控零異常  
配送溫控零異常

Let's Café  
| 喝一口 美好 |

FamilyMart

# 濃醇

成就  
完美黃金比例  
就  
口  
感  
濃  
郁



Let's Café